(19)日本国特許庁(JP)

(51) Int.Cl.⁶

(12) 公開特許公報(A)

FΙ

(11)特許出願公開番号

特開平11-60562

(43)公開日 平成11年(1999)3月2日

101	審査請求	A 0 1	4 D 23	3/54 3/60 3/84 9/60		B 1 0 1	
	審査請求	A 0 1	N 4 4 4 7 D 23	3/54 3/60 3/84 9/60		_	
	審査請求	C 0 7	4 4 D 23	3/60 3/84 9/60		1 0 1	
	審査請求		4 D 23	3/84 9/60		1 0 1	
	審査請求		D 23	9/60		101	
- BKW71 0 179090	審査請求			•			
- 阿亚10-17909A				の数3	FD	(全 57 頁)	最終頁に続く
MBG-1-10 _ 11.0900		(71) }	人類出	000000	169		
		İ		クミア	イ化学	工業株式会社	
成10年(1998) 6月5日				東京都	台東区	他之端1丁目	4番26号
		(71) }	人願出	000102	049		
顧平9-169454				イハラ	ケミカ	ル工業株式会	社
9 (1997) 6 月11日				東京都	台東区	他之端1丁目	4番26号
本 (JP)		(72) §	光明者				
				静岡県	磐田郡	福田町塩新田4	108番地の1
		(72) §	ぞ明者				•
				静岡県	磐田郡	富田町塩新田4	108番地の1
	順平9-169454 9 (1997) 6 月11日	顧平9-169454 9 (1997) 6 月11日	度平9-169454 9 (1997) 6 月11日 本(JP) (72) 3	顧平9-169454 9 (1997) 6 月11日 本 (JP) (72)発明者	成10年(1998) 6月5日 東京都 (71)出願人 000102 顧平9-169454 イハラ 9 (1997) 6月11日 東京都 本(JP) (72)発明者 吉村 静岡県 株式会 (72)発明者 宮崎 静岡県	成10年(1998) 6月5日 東京都台東区 (71)出願人 000102049 イハラケミカ 9 (1997) 6月11日 東京都台東区 本(JP) (72)発明者 吉村 巧 静岡県磐田郡 株式会社ケイ (72)発明者 宮崎 雅弘 静岡県磐田郡	顧平9-169454 (71) 出願人 000102049 イハラケミカル工業株式会 東京都台東区池之端1丁目 本(JP) (72)発明者 吉村 巧 静岡県磐田郡福田町塩新田4 株式会社ケイ・アイ研究所

(54) 【発明の名称】 スルホンアニリド誘導体及び除草剤

識別記号

(57)【要約】

【課題】 水田における有害雑草に対して優れた除草効果を有するとともに作物に安全性が高いスルホンアニリド誘導体を提供する。

【解決手段】一般式[I]

$$(R^{2})_{m} \qquad R^{3}$$

$$N - SO_{2}R^{1}$$

$$OCH_{3} \qquad [1]$$

「式中、 R^1 はアルキル基又はアルケニル基 [該基はいずれもハロゲン原子等で置換されてもよい。]を示し、 R^2 は水素原子、ハロゲン原子又はアルコキシ基等を示し、 R^3 は水素原子、アルキル基又はアルコキシカルボニル基等を示し、 R^4 R^5) - [ここで R^4 R^5 は水素原子、アルキル基等を示す。]又は基-C(-N R^6)- [ここで R^6 は水素原子、アルキル基等を示す。]を示し、 R^6 が表原子、アルキル基等を示す。]を示し、 R^6 が表別を示す。}で示されるスルホンアニリド誘導体及びその塩、該スル

ホンアニリド誘導体を有効成分として含有する除草剤。

【特許請求の範囲】 【請求項1】 一般式[I] 【化1】

$$(R^{2})_{m} \qquad R^{3}$$

$$N = SO_{2}R^{1}$$

$$Q = N$$

$$OCH_{3}$$

$$OCH_{3}$$

{式中、R1 はアルキル基(該基はハロゲン原子又はシ アノ基で置換されてもよい。) 又はアルケニル基(該基 はハロゲン原子で置換されてもよい。)を示し、R2は 各々独立して、水素原子、ハロゲン原子、アルコキシ基 又はアルキル基(該基はハロゲン原子、水酸基、アルコ キシ基、アルケニルオキシ基、アルキニルオキシ基、ア ルキルチオ基、モノ又はジアルキルアミノ基で置換され てもよい。)を示し、R3は水素原子、アルキル基(該 基はハロゲン原子、水酸基、アルケニルオキシ基、アル キニルオキシ基、モノ又はジアルキルアミノ基、アルコ キシ基又はアルキルチオ基で置換されてもよい。)、べ ンジル基、アシル基、アルコキシカルボニル基、置換さ れたカルバモイル基、置換されたチオカルバモイル基又 は基一SO₂R¹(ここでR¹は前記と同じ意味を示 す。) を示し、Qは基-CH(NR4 R5)-[ここで R⁴、R⁵は同一か又は相異なり、水素原子、アルキル 基(該基はハロゲン原子、水酸基、シアノ基、アルコキ シ基、アルキルチオ基又はフェニル基で置換されてもよ い。)、アルケニル基、アルキニル基、シクロアルキル 基、フェニル基(該基はハロゲン原子、アルキル基又は アルコキシ基で置換されてもよい。)、アシル基、アル コキシカルボニル基、置換されたカルバモイル基、置換 されたチオカルバモイル基、基-SO2R1 (ここでR 1 は前記と同じ意味を示す。)、基-NR7 R8 [ここ でR7、R8は同一か又は相異なり、水素原子、アルキ ル基(該基はハロゲン原子、水酸基、シアノ基、アルコ キシ基、アルキルチオ基又はフェニル基で置換されても よい。)、アルケニル基、アルキニル基、シクロアルキ ル基、フェニル基(該基はハロゲン原子、アルキル基又 はアルコキシ基で置換されてもよい。)、アシル基、ア ルコキシカルボニル基、基-SO2R1 (ここでR1は 前記と同じ意味を示す。)、置換されたカルバモイル基 又は置換されたチオカルバモイル基を示す。]又は基一 OR9 [ここでR9は水素原子、アルキル基(該基はハ ロゲン原子、水酸基、シアノ基、アルコキシ基、アルキ ルチオ基、フェニル基で置換されてもよい。)、アルケ ニル基、アルキニル基、シクロアルキル基、フェニル基 (該基はハロゲン原子、アルキル基、アルコキシ基で置 換されてもよい。)、アシル基、アルコキシカルボニル 基、アルキルスルホニル基(該基はハロゲン原子で置換 されてもよい。)、置換されたカルバモイル基又は置換

されたチオカルバモイル基を示す。〕を示し、或いは場 合により、R4 及びR5 はこれらの結合した窒素原子と 合わせて一つ又はそれ以上のヘテロ原子を有する含窒素 ヘテロ環基を形成してもよい。] 又は基-C(=N R6) - [ここでR6は水素原子、アルキル基(該基は ハロゲン原子、水酸基、シアノ基、アルコキシ基、アル キルチオ基、フェニル基で置換されてもよい。)、アル ケニル基、アルキニル基、シクロアルキル基、フェニル 基(該基はハロゲン原子、アルキル基、アルコキシ基で 置換されてもよい。)、アシル基、アルコキシカルボニ ル基、置換されたカルバモイル基、置換されたチオカル バモイル基、基-SO₂R¹ (ここでR¹ は前記と同じ 意味を示す。)、基-NR7R8(ここでR7及びR8 は前記と同じ意味を示す。) 又は基-OR9 (ここでR 9 は前記と同じ意味を示す。) を示す。] を示し、mは 1~4の整数を示す。 > で示されるスルホンアニリド誘 導体及びその塩。

【請求項2】 一般式[II] 【化2】

$$(\mathbb{R}^2)_{m} \bigvee_{N=0}^{N-O} \bigcap_{OCH_3} [II]$$

(式中、R² 及びmは請求項1に記載と同じ意味を示す。)で示される請求項1に記載のスルホンアニリド誘導体の製造中間体である4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル誘導体。

【請求項3】 請求項1に記載のスルホンアニリド誘導体又はその塩を有効成分として含有することを特徴とする除草剤。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は新規なスルホンアニリド 誘導体およびそれを有効成分として含有することを特徴 とする除草剤に関するものである。

[0002]

【従来技術】特表平7-501053号公報明細書及びWO96/41799号公報明細書にはアニリドの2'位にピリミジン-2-イル基が置換したスルホンアニリド化合物が除草活性を有することが記載されている。

【0003】しかしながら、該公報明細書に中には、アニリドの2¹位へのピリミジン-2-イル基の置換において、ピリミジン2位とアニリド2¹位との結合が、メチレン基、ハロゲン置換メチレン基、カルボニル基、ヒドロキシル基、オキソメチレン基、アルコキシ基、チオキソメチレン基又はアルキルチオ基である化合物及びそれらの誘導体が記載されているものの、本発明スルホンアニリド誘導体のように、ピリミジン2位とアニリドの2¹位との結合にアミノメチレン基、イミノメチレン基

を有する化合物については知られていない。即ち、本発明スルホンアニリド誘導体およびそれを有効成分とする除草剤について具体的な除草効果や製造法は今まで知られていない。更に特表平7-501053号公報明細書及びWO96/41799号公報明細書に記載の化合物は除草活性が不充分であったり、作物と雑草間の選択性に劣ることから満足すべきものとは言い難い。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】現在、水田においてはカヤツリグサ科雑草等、種々の難防除雑草が問題になっている。これらの雑草は発生が不揃いで、しかも水稲の栽培時期に長期間に渡って発生してくるため、その防除は難しい課題となっている。このため、それらを防除できる処理適期幅の広い薬剤の開発が望まれている。また、現在の水稲除草剤では、葉齢の小さい水稲や移植深度の浅い水稲に対しても安全に除草剤を使用することは、極めて難しい課題となっている。特に水稲に対し高い安全性を有する除草剤の出現は、移植時に除草剤の同時処理を可能にし、稲作作業の合理化、大型化にとって大いに切望されている。

[0005]

【課題を解決するための手段】本発明者らは、このような状況に鑑み種々検討した結果、新規なスルホンアニリド誘導体とその製造方法を案出し、該化合物が上述のような欠点の少ない優れた除草作用を有することを見出し、本発明を完成するに至った。

【0006】即ち、本発明は(1)一般式[I] 【0007】 【化3】

$$(R^{2})_{m} \xrightarrow{R^{3}} OCH_{3}$$

$$Q \xrightarrow{N} OCH_{3}$$

$$Q \xrightarrow{N} OCH_{3}$$

$$Q \xrightarrow{N} OCH_{3}$$

「式中、 R^1 はアルキル基(該基はハロゲン原子又はシアノ基で置換されてもよい。)又はアルケニル基(該基はハロゲン原子で置換されてもよい。)を示し、 R^2 は各々独立して、水素原子、ハロゲン原子、アルコキシ基又はアルキル基(該基はハロゲン原子、水酸基、アルコキシ基、アルケニルオキシ基、アルキニルオキシ基、アルキルチオ基、モノ又はジアルキルアミノ基で置換されてもよい。)を示し、 R^3 は水素原子、アルキル基(該基はハロゲン原子、水酸基、アルケニルオキシ基、アルキニルオキシ基、モノ又はジアルキルアミノ基、アルキニルオキシ基、モノ又はジアルキルアミノ基、アルコキシ基又はアルキルチオ基で置換されてもよい。)、ベンジル基、アシル基、アルコキシカルボニル基、置換されたチオカルバモイル基又は基一 SO_2 R^1 (ここで R^1 は前記と同じ意味を示す。)を示し、Qは基一CH (NR^4 R^5) — [ここで

 R^4 、 R^5 は同一か又は相異なり、水素原子、アルキル 基(該基はハロゲン原子、水酸基、シアノ基、アルコキ シ基、アルキルチオ基又はフェニル基で置換されてもよ い。)、アルケニル基、アルキニル基、シクロアルキル 基、フェニル基(該基はハロゲン原子、アルキル基又は アルコキシ基で置換されてもよい。)、アシル基、アル コキシカルボニル基、置換されたカルバモイル基、置換 されたチオカルバモイル基、基-SO₂R¹(ここでR 1 は前記と同じ意味を示す。)、基-NR7 R8 [ここ でR7、R8は同一か又は相異なり、水素原子、アルキ ル基(該基はハロゲン原子、水酸基、シアノ基、アルコ キシ基、アルキルチオ基又はフェニル基で置換されても よい。)、アルケニル基、アルキニル基、シクロアルキ ル基、フェニル基(該基はハロゲン原子、アルキル基又 はアルコキシ基で置換されてもよい。)、アシル基、ア ルコキシカルボニル基、基-SO₂R1 (ここでR1は 前記と同じ意味を示す。)、置換されたカルバモイル基 又は置換されたチオカルバモイル基を示す。] 又は基一 OR9 [ここでR9 は水素原子、アルキル基(該基はハ ロゲン原子、水酸基、シアノ基、アルコキシ基、アルキ ルチオ基、フェニル基で置換されてもよい。)、アルケ ニル基、アルキニル基、シクロアルキル基、フェニル基 (該基はハロゲン原子、アルキル基、アルコキシ基で置 換されてもよい。)、アシル基、アルコキシカルボニル 基、アルキルスルホニル基 (該基はハロゲン原子で置換 されてもよい。)、置換されたカルバモイル基又は置換 されたチオカルバモイル基を示す。〕を示し、或いは場 合により、R4 及びR5 はこれらの結合した窒素原子と 合わせて一つ又はそれ以上のヘテロ原子を有する含窒素 へテロ環基を形成してもよい。] 又は基-C (=N R⁶) - [ここでR⁶ は水素原子、アルキル基 (該基は ハロゲン原子、水酸基、シアノ基、アルコキシ基、アル キルチオ基、フェニル基で置換されてもよい。)、アル ケニル基、アルキニル基、シクロアルキル基、フェニル 基(該基はハロゲン原子、アルキル基、アルコキシ基で 置換されてもよい。)、アシル基、アルコキシカルボニ ル基、置換されたカルバモイル基、置換されたチオカル バモイル基、基-SO₂R1 (ここでR1 は前記と同じ 意味を示す。)、基-NR7R8 (ここでR7及びR8 は前記と同じ意味を示す。)又は基-OR9 (ここでR 9 は前記と同じ意味を示す。) を示す。] を示し、mは 1~4の整数を示す。
とで示されるスルホンアニリド誘 導体及びその塩、(2)一般式[I]で示される化合物 の製造中間体となる一般式[I I]

[0008]

【化4】

(式中、R² 及びmは前記と同じ意味を示す。)で示される4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル誘導体及び、(3)一般式[I]記載のスルホンアニリド誘導体又はその塩を有効成分とする除草剤を提供するものである。

【0009】尚、本明細書において、用いられる用語の 定義を以下に示す。

【0010】ハロゲン原子とは、フッ素原子、塩素原子、臭素原子、ヨウ素原子を示す。

【0011】アルキル基とは、特に限定しない限り、炭素数が1~10の直鎖又は分岐鎖状のアルキル基を意味し、例えばメチル基、エチル基、nープロピル基、イソプロピル基、nーブチル基、イソブチル基、secーブチル基、tertーブチル基、nーペンチル基、イソアミル基、ネオペンチル基、nーペキシル基、イソヘキシル基、3,3ージメチルブチル基、nーヘプチル基、nーオクチル基、nーノニル基、nーデシル基等を挙げることができる。

【0012】アシル基とは、ホルミル基、ベンゾイル基 又はアルキル部分が上記の意味を示す(アルキル)-C O-基を示し、例えばアセチル基、プロピオニル基等を 挙げることができる。

【0013】アルコキシ基とは、アルキル部分が上記の意味を示す(アルキル)-O-基を示し、例えばメトキシ基、エトキシ基、ロープロポキシ基、イソプロポキシ基、 n-ブトキシ基、イソブトキシ基、 sec-ブトキシ基、 tert-ブトキシ基、 n-ヘキシルオキシ基、 n-オクチルオキシ基等を挙げることができる。

【0014】アルコキシカルボニル基とは、アルコキシ部分が上記の意味を示す(アルコキシ)-CO-基を示し、例えばメトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基等を挙げることができる。

【0015】アルケニル基とは、炭素数が2~6の直鎖 又は分岐鎖状のアルケニル基を示し、例えばビニル基、 プロペニル基等を挙げることができる。

【0016】アルケニルオキシ基とは、アルケニル部分が上記の意味を示す(アルケニル)-O-基を示し、例えばアリルオキシ基等を挙げることができる。

【0017】アルキニル基とは、炭素数が2~6の直鎖 又は分岐鎖状のアルキニル基を示し、例えばプロパルギ ル基等を挙げることができる。

【0018】アルキニルオキシ基とは、アルキニル部分が上記の意味を示す(アルキニル)-O-基を示し、例えばプロパルギルオキシ基等を挙げることができる。

【0019】シクロアルキル基とは、炭素数3~7のシ

クロアルキル基を示し、例えばシクロプロピル基、シクロペンチル基等を挙げることができる。

【0020】アルキルチオ基及びアルキルスルホニル基とは、アルキル部分が上記の意味である(アルキル)-S-基、(アルキル)-SO₂-基を示し、例えばメチルチオ基、エチルチオ基、メチルスルホニル基、エチルスルホニル基等を挙げることができる。

【0021】モノ又はジアルキルアミノ基とは、アルキル部分が上記の意味である、(アルキル)-NH-基、(アルキル)₂ N-基を示し、例えばメチルアミノ基、ジメチルアミノ基等を挙げることができる。

【0022】置換されたカルバモイル基とは、N-モノ 置換又はN,N-ジ置換されたカルバモイル基を示し、 例えばN,N-ジメチルカルバモイル基等を挙げること ができる。

【0023】置換されたチオカルバモイル基とは、Nーモノ置換又はN,Nージ置換されたチオカルバモイル基を示し、例えばNーメチルチオカルバモイル基等を挙げることができる。

【0024】アシルオキシ基及びアルキルスルホニルオキシ基とは、アシル又はアルキルスルホニル部分がそれぞれ上記の意味である(アシル)-〇-基、(アルキルスルホニル)-〇-基を示し、例えばアセトキシ基又はメシルオキシ基等を挙げることができる。

【0025】含窒素へテロ環基とは、5~6 員環の含窒素へテロ環基を示し、例えばピペリジノ基、モルホリノ基、イミダゾリル基等を挙げることができる。

【0026】塩とは、一般式[I]で表される化合物と酸との塩又は、一般式[I]で表される化合物の、スルホンアミドと金属或いは有機塩基との塩であり、酸としては塩酸や臭化水素酸等のハロゲン化水素酸又は硫酸やメタンスルホン酸等のスルホン酸を挙げることができ、金属としてはナトリウムやカリウム等のアルカリ土類金属を挙げることができ、有機塩基としてはトリエチルアミン、ジイソプロピルアミン等を挙げることができる。

【0027】前記一般式 [I] において、好ましい化合物群としては、 R^1 がトリフルオロメチル基又はジフルオロメチル基であり、 R^2 が水素原子、炭素数が $1\sim3$ のアルキル基及び炭素数が $1\sim3$ のアルコキシ基、ハロゲン原子又はメトキシメチル基であり、 R^3 が水素原子又はメトキシメチル基であり、Qが基-CH(NR^4 R^5)-であり、 R^4 、 R^5 は同一か又は相異なり、水素原子又は炭素数が $1\sim6$ のアルキル基であり、mが1又は2で表される化合物群が挙げられる。

[0028]

【発明の実施の形態】次に、一般式[I]、[II]で表される本発明化合物の代表的な化合物例を表1~表35に示すが、本発明化合物はこれらに限られるものではない。尚、化合物番号は以後の記載において参照され

る。

通りそれぞれ該当する基を表す。

【0029】本明細書における表中の次の表記は下記の

[0030]

 Me :メチル基、
 Et :エチル基、

 Pr :プロピル基、
 Pr-i:イソプロ

 $Pr: \mathcal{P}$: プロピル基、 $Pr-i: \mathcal{I}$: イソプロピル基、 $Pr-i: \mathcal{I}$: イソプロピル基、 $Pr-i: \mathcal{I}$: イソブチル基、

Bu-s:sec-ブチル基、 Bu-t:tert-ブチル基、

Pen:n-ペンチル基、 Bn:ベンジル基、

Pr-c:シクロプロピル基、 Bu-c:シクロブチル基、

Pen-c:シクロペンチル基、 Ph :フェニル基、

[0031]

【表1】

$$\begin{array}{c} {\rm R}^2 \quad {\rm 5} \quad {\rm 6} \quad {\rm R}^3 \\ {\rm 4} \quad {\rm N} \quad {\rm N} \quad {\rm SO}_2 {\rm R}^1 \\ {\rm CH} \quad {\rm N} \quad {\rm OCH}_3 \\ {\rm I} \quad {\rm N} \quad {\rm OCH}_3 \end{array}$$

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	融点(℃) 試域短折
番号					\$\$ (n _D ²⁰)
I- 1	CH ₂ F	H	н	N(Et)2	137-138
1- 2	CH ₂ F	н	H	N(Pr)2	1, 5350
I- 3	CH ₂ F	В	H	N (Me) 2	94- 95
]- 4	CH ₂ F	H	Ħ	NHEt.	135-137
1- 5	CH ₂ F	Н	H	NHPr	'
1- 6	CH ₂ F	H	H	NHPr-i	
1- 7	CH ₂ F	H	H	NHMe	174-175
I- 8	CH ₂ F	3-F	H	N(Et) ₂	
1-9	CH ₂ F	3-F	H	N(Pr)2	
1-10	CH ₂ F	3-F	H	N (Me) 2	
1-11	C∏ ₂ F	3-F	H	NHE't	
1-12	CH ₂ F	3-F	H	NHPr	
1-13	CH ₂ F	3-F	H	NHPr−i	
I-14	CH ₂ F	3-F	H	NHMe	
J-15	CH ₂ F	5-F	H	n (Bt) 2	
I-16	CH _Z F	5-F	H	N(Pr)2	
]-17	CH ₂ F	5-F	H	N (Me) 2	
1-18	CH ₂ F	5-F	H	NHE t	
1-19	CH ₂ F	5-F	H	MHPr	
1-20	CH _Z F	5-F	H	NHPr-i	
1-21	CH ₂ F	5-F	H	NHMe	
1-22	CH ₂ F	6-Et	H	N(Et)2	
1-23	CH ₂ F	6-Et	H	N (Pr) 2	
1-24	CH ₂ F	6-Et	Ħ	N (Me) 2	
1-25	CH ₂ F	6-Et	H	NHBt "	

化合物	R ¹	R^2	R ³	R	融点(°C) 数性
番号					屈折率(n _D ²⁰)
1-26	CH ₂ F	6-Bt	Н	NHPr	
1-27	CH ₂ F	6-Bt	H	NEPr-i	
[-28	CH ₂ F	6-Bt	H	NIEME	
[-29	CH ₂ F	6-F	Ħ	N(Et)2	
r-30	CH ₂ F	6-F	Ħ	N(Pr)2	
1-31	CH2F	9− 8	Ħ	N (Mg) 2	1
I-32	CH ₂ F	6-F	H	NEEEt "	
I-33	CH ₂ F	6-F	H	NEPr	
I-34	CH ₂ F	6-F	H	N⊞Pr—i	
r-35	CH ₂ F	6-F	Ħ	NHMe	
I-36	CH ₂ F	В-Мө	E	N(Et)2	
I-37	CH ₂ F	6-Me	H	N(Pr)2	
1-38	CH ₂ F	6-Me	H	N(Me) ₂	
1-99	CH ₂ F	6-Me	Ħ	NHR t	
I-40	CH ₂ F	6-Me	H	NHPr	
I-41	CH ₂ F	6-Me	H	NHPr-i	
I-42	CH ₂ F	6-Me	Ħ	NEMe	
I-43	CH ₂ F	6-0Me	B	N(Et)2	
[-44	CH ₂ P	6-0Me	H	N(Pr)2	
[-45	CH ₂ F	6-0Me	H	N (Me) 2	
[-46	CH ₂ F	6-0Me	H	NHEt	
[-47	CH ₂ F	6∽0Me	H	NEPr	
[− 48	CH ₂ F	6-0Me	B	NHPr-i	
[- 49	CH ₂ F	6-ŒMe	H	NEMe	
I-50	CH ₂ F	6-Pr	H	N(Et)2	
I - 51	CH ₂ F	6-Pr	H	N(Pr)2	
I-5 2	CH ₂ F	8-Pr	H	N (Me) 2	
I-53	CH ₂ F	6-Pr	H	NEEt	
I-54	CH ₂ F	8-Pr	H	NEPr	
I-55	CH ₂ F	6-Pr	H	N⊞r-i	
I-56	CH ₂ F	6-Pr	Ħ	NEMe	

【0033】 【表3】

化合物	R ¹	R ²	R ³		融点(°C)
番号	R*	R-	R	R	#紅屈折 率(n _D ²⁰)
1-57	СН ₂ F	6-CH ₂ OMe	Н	N(Et) ₂	
1-58	CH ₂ F	6-CH ₂ OMe	Н	N(Pr)2	
I-59	CH ₂ F	6-CH ₂ OMe	Н	N (Me) 2	
1-60	CH ₂ F	6-CH ₂ OMe	Н	NHE t	
I-61	CH ₂ F	6-CH ₂ OMe	Н	NHPr	
1-62	CH ₂ F	6-CH ₂ OMe	Н	NHPr-i	
1-63	CH ₂ F	6-CH ₂ OMe	H	NEMe	
I-64	CH ₂ Br	B "	H	N(Et)2	
I-65	CH ₂ Br	H	Н	N(Pr)2	
1-66	CH ₂ Br	Ħ	н	N (Me) 2	
1-67	CH ₂ Br	H	н	NHB t	
1-68	CH ₂ Br	H	H	NHPr	
1-69	CH ₂ Br	Ħ	н	NHPr-i	
1-70	CH ₂ Br	A	Н	NHMe	
I-71	CH ₂ Br	3-F	н	N(Et)2	
I-72	CH ₂ Br	3-F	H	N (Pr) 2	
I- 7 3	CH ₂ Br	3-F	н	NOMe)2	
I-74	CH ₂ Br	3-F	н	NHE t	
I-75	CH ₂ Br	3-F	н	NHPI	
I-76	CH ₂ Br	3-F	н	NHPr-i	
I-77	CH ₂ Br	3-F	н	NHMe	
I-78	CH ₂ Br	5-F	н	N(Et) ₂	
1-79	CH ₂ Br	5-F	н	N(Pr)2	
I-80	CH ₂ Br	5-F	н	N (Me) 2	
I-81	CH ₂ Br	5-F	Н	NHBt	
1-82	CH ₂ Br	5-F	H	NHPr	
1-83	CH ₂ Br	5-F	Н	NEPr-i	
I-84	CH ₂ Br	5-F	Н	NHMe	
I-85	CH ₂ Br	6-Et	H	N(Et)2	
I-86	CH ₂ Br	6-Et	H	N(Pr)2	
I-87	CH ₂ Br	6-Et	H	N (Me) 2	
I-88	CH ₂ Br	8-Et	H	NEEt	

【0034】 【表4】

化合物 番 号	R ¹	R ²	R ³	R	融点(°C) <u>計は屈折</u> 率(n _D ²⁰)
					, 4-0 ,
1-89	CH ₂ Br	6-Et	B	NHPr	
1-90	CH ₂ Br	6-Et	B	NHPr-i	
1-91	CH ₂ Br	6-Et	B	NEMe	
1-92	CH ₂ Br	6-F	H	N(Et)2	
I-93	CH ₂ Br	6-F	H	N(Pr)2	
1-94	ÇH ₂ Br	6-F	H	N (Me) 2	
1-95	CH ₂ Br	6-F	В	NHBt	
1-96	CH ₂ Br	6-F	H	NHPT	
1-97	CH ₂ Br	6-F	H	NHPr-i	
1-98	CH ₂ Br	6-F	H	NEMe	
1-99	CH ₂ Br	6-Mae	В	N(Bt) ₂	
1-100	CH ₂ Br	6—Mae	H	N (Pt) 2	
I-101	CH ₂ Br	6-Me	B	N (Me) 2	•
I-102	CH ₂ Br	6- ™ e	В	NHBt. 2	
1-103	CH ₂ Br	6-Mae	H	NHPr	
1-104	CH ₂ Br	6—Mae	H	NHPr-i	
I-105	CH ₂ Br	6-Mae	H	NHMe	
I-106	CH ₂ Br	6-0Me	Ħ	N(Bt)2	
1-107	CH ₂ Br	6-0Me	В	N (Pr) 2	
1-108	CH ₂ Br	6-0Me	H	N(Me)2	
I-109	CH ₂ Br	6-0Me	H	NHBt. 2	ŀ
I-110	CH ₂ Br	6-0Me	H	NHPr	
1-111	CH ₂ Br	6-0Me	H	NHPr-i	
1-112	CH ₂ Br	6-0Me	H	NHMe	
I-113	CH ₂ Br	6-Pr	H	N(Bt)2	
I-114	CH ₂ Br	6-Pr	H	N(Pr)2	
I-115	CH ₂ Br	6-Pr	H	N (Me) 2	
I-116	CH ₂ Br	6-Pr	H	neet "	
I-117	CH ₂ Br	6-Pr	H	NHPT	
I-118	CH ₂ Br	6-Pr	H	NHPr-i	
J-119	CH ₂ Br	6-Pr	H	NEMe	
	_				

【0035】 【表5】

化合物	R ¹	_R 2	R ³	R	融点(°C) まは屈折
番号					率(n _D ²⁰)
1-120	CH ₂ Br	6-CH ₂ OMe	Н	N(Et) ₂	
I-121	CH ₂ Br	6-CH ₂ OMe	Н	N(Pr)2	
1-122	CH ₂ Br	6-CH ₂ OMe	H	N (Me) 2	
I-123	CH ₂ Br	6-CH ₂ OMe	н	NHE t	
1-124	CH ₂ Br	6-CH ₂ OMe	Н	NHPr	
1-125	CH ₂ Br	6-CH ₂ OMe	H	NHPr-i	
1-126	CH ₂ Br	6-CH ₂ OMe	Н	NEMe	
1-127	CH ₂ C1	H .	H	N(Et)2	
I-128	CH ₂ C1	Ħ	Н	N(Pr)2	
1-129	CH ₂ C1	Ħ	н	N (Me) 2	
I-130	CH ₂ C1	H	Н	NHEt "	
I-131	CH ₂ C1	H	Н	NHPr	
I-132	CH ₂ C1	B	Н	NHPr-i	
I-133	CH ₂ C1	Ħ	Н	NHMe	
1-134	СН <mark>2</mark> С1	3-F	н	N(Et)2	
1-135	CH ₂ C1	3-F	Н	N (Pr) 2	
I-136	CH ₂ C1	3-F	H	NOMe) 2	
I-137	CH ₂ C1	3-F	н	NHE't	
1-138	CH ₂ C1	3-F	Н	NHPr	
1-139	CH ₂ C1	3-F	H	NHPr-i	
I-140	CH ₂ C1	3-F	H	NHMe	
I-141	CH ₂ C1	5-F	H	n(Et)2	
I-142	CH ₂ C1	5-F	H	N (Pr) 2	
I-143	CH ₂ C1	5-F	H	N (Me) 2	
I-144	CH ₂ C1	5-F	Н	NHEt	
I-145	CH ₂ C1	5-F	Н	NHPr	
I-146	CH ₂ C1	5-F	н	NHPr-i	
1-147	Сн ₂ С1	5-F	н	NEMe	
I-148	CH ₂ C1	6-Et	н	N(Et)2	
I-149	CH ₂ C1	6-Et	H	N(Pr)2	
1-150	CH ₂ C1	6-Et	H	N (Me) 2	
1-151	CH ₂ C1	6-Et	H	NEEt	

【0036】 【表6】

化合物	_R 1	_R 2	R ³	,,	融 点(℃)
	R*	K-	R.	R	統地屈折 20、
番号					率(n _D ²⁰)
1-152	CH ₂ C1	6-Et	H	NHPr	
I-153	CH ₂ C1	6-Et	H	NHPr-i	
I-154	CH ₂ C1	6-Et	B	NEMe	
I-155	CH ₂ C1	6-F	H	N(Bt) ₂	
I-156	CH ₂ C1	6-F	H	N(Pr)2	
1-157	CH ₂ C1	6-F	H	N(Me) ₂	
1-158	CH ₂ C1	6-F	H	NHBt "	
I-159	CH ₂ C1	6-F	H	NHPr	
1-160	CH ₂ C1	6-F	H	NEPr-i	
I-161	CH ₂ C1	6-F	H	NEMe	
I-162	CH ₂ C1	6–Mae	B	N(Bt)2	
I-163	CH ₂ C1	6–Mae	H	N(Pr)2	
I-164	CH ₂ C1	6−Mae	Ħ	N (Me) 2	
1-165	CH ₂ C1	6- ™ e	H	NHB t	
1-166	CH ₂ C1	6- E e	В	NHPr	
J-167	CH ₂ C1	6- M e	В	NHPr-i	
I-168	CH ₂ C1	6-Mae	H	NEMe	
1-169	CH ₂ C1	6−0Me	H	N(Et)2	
1-170	CH ₂ C1	6-0Me	В	N(Pr)2	
1-171	CH ₂ C1	6-0Me	В	N (Me) 2	
I-172	CH ₂ C1	6-0Me	H	NHE t	
1-173	CH ₂ C1	6-0Me	H	NEPr	
1-174	CH ₂ C1	6-0Me	B	NHPr-i	
1-175	CH ₂ C1	6-0Me	H	NEMe	
1-176	CH ₂ C1	6-Pr	H	N(Bt) ₂	
1-177	CH ₂ C1	6-Pr	H	N(Pr)2	
1-178	CH ₂ C1	6-Pr	H	N (Me) 2	
I-179	CH ₂ C1	6-Pr	H	NHE t	•
I-180	CH ₂ C1	6-Pr	B	NHPr	
I-181	CH ₂ C1	6-Pr	H	NHPr-i	
I-182	СН ₂ С1	6-Pr	B	NTIMe	

【0037】 【表7]

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	融 点(°C) 批团折
番号					率(n _D ²⁰)
1-183	CH ₂ C1	6-CH ₂ OMe	Н	N(Et) ₂	
I-184	CH ₂ C1	6-CH ₂ OMe	H	N(Pr)2	
1-185	CH ₂ C1	6-CH ₂ OMe	11	N (Me) 2	
1-186	CH ₂ C1	6-CH ₂ OMe	H	NHEt	
I-187	CH ₂ C1	6-CH ₂ OMe	H	NHPr	
I-188	CH ₂ C1	6-CH ₂ OMe	H	NHPr-i	
I-189	CH ₂ C1	6-CH ₂ OMe	H	NHMe	
I-190	CH ₂ CN	В	H	N(Bt)2	
1-191	CH ₂ CN	Ħ	H	N(Pr)	
1-192	CH ₂ CN	Ħ	H	N (Me) 2	
1-193	CH ₂ CN	Ħ	Н	NHEt	
I-194	CH ₂ CN	Ħ	H	NHPT	
I-195	CH ₂ CN	H	H	N⊞Pr−i	
I-196	CH ₂ CN	Ħ	H	NHMe	
I-197	CH ₂ CN	3-F	Н	N(Et)2	
I-198	CH ² CN	3-F	Н	N(Pr)2	
I-199	CH ^Z CN	3-F	H	N (Me) 2	
1-200	CH ₂ CN	3-F	Н	NHE t	
I-201	CH ₂ CN	3-F	H	NHPr	
I-202	CH ₂ CN	3-F	H	NHPr-i	
1-203	CH ₂ CN	3-F	Н	NHMe	
1-204	CH ₂ CN	5-F	Н	N(Et)2	
1-205	CH ₂ CN	5-F	H	N(Pr)2	
1-206	CH ² CN	5-F	н	N (Me) 2	
1-207	CH ² CN	5-F	H	NHEt	
1-208	CH ₂ CN	5-F	H	NHPr	
1-209	CH ² CM	5-F	Н	NHPr-i	
I-210	CH ² CN	5-F	н	NHMe	
1-211	CH ₂ CN	6-Et	н	N(Et)2	
1-212	CH ² CN	6-Et	Н	N(Pr)2	
1-213	CH ² CN	6-Et	н	N (Me) 2	
1-214	CH ² CN	6-Et	H	NEEt "	

【0038】 【表8】

化合物 番号	R ¹	R ²	R ³	R	融 点(°C) 批加折 率(n _D ²⁰)
1-215	CH ₂ CN	6-Et	В	NHPr	
1-216	CH ₂ CN	6-Et	H	NHPr-i	
1-217	CH ₂ CN	6–Et	H	NHMe	
1-218	CH ₂ CN	6-F	H	N(Bt) ₂	
1-219	CH ₂ CN	6-F	В	N(Pr) ₂	
1-220	CH ₂ CN	6-F	H	N (Me) 2	
1-221	CH ^S CN	6-F	Ĥ	NHBt	
1-222	CH ₂ CN	6-F	H	NHPT	
1-223	CH ₂ CN	6-F	H	NHPr-i	ļ
1-224	CH ₂ CN	6-F	H	NHMe	
1-225	CH ₂ CN	6-Mae	Ħ	N(Bt) ₂	
1-226	CH_CN	6- M e	H	N(Pr)2	
1-227	CH ₂ CN	6- M e	H	N (Me) 2	
1-228	CH ² CN	6-Me	H	NHBt	
1-229	CH ₂ CN	6- M e	H	NHPr	
1-230	CH ₂ CN	6-Me	H	NHPr-i	
1-231	CH ² CN	6- M e	H	NEMe	
1-232	CH ² CN	6-01Me	Ħ	N(Bt) ₂	
1-233	CH_CN	6-0Me	H	N (Pr) 2	
1-234	CH ₂ CN	6-0Me	H	N (Me) 2	
1-235	CHZON	6-0Me	B	NHBt 2	
1-236	CH ₂ CN	6-0Me	H	NHPr	
1-237	CH ₂ CN	6-01Me	H	NHPr-i	
1-238	CH ₂ CN	6-01Me	B	NHMe	
1-239	CH ₂ CN	6-Pr	B	N(Bt) ₂	
1-240	CH_CN	6-Pr	H	N(Pr) ₂	
I-241	CH ² CN	6-Pr	H	N(Me)2	!
I-242	CH ₂ CN	6-Pr	н	NHE t	
I-243	CH ² CN	6-Pr	В	NHPr	
I-244	CH ₂ CN	6-Pr	H	NHPr-i	
I-245	CH ₂ CN	6-Pr	H	NHMe	

【0039】 【表9】

化合物	R^1	_R 2	R ³	R	融 点(℃) 計量折 率(n _n)
I-246 I-247 I-248 I-249 I-250	CH ₂ CN CH ₂ CN CH ₂ CN CH ₂ CN	6-CH ₂ OMe 6-CH ₂ OMe 6-CH ₂ OMe 6-CH ₂ OMe 6-CH ₂ OMe	H H H	N(Et) ₂ N(Pr) ₂ N(Me) ₂ NHEt NHPr	
I-251 1-252 1-253 1-254 I-255	CH ₂ CN CH ₂ CN CHF ₂ CHF ₂	6-CH ₂ OMe 6-CH ₂ OMe H	H H H Me Bn	NHPr-i NHMe N(Et) ₂ N(Et) ₂ N(Et) ₂	108-110
1-256 1-257 1-258 1-259	CHF ₂ CHF ₂ CHF ₂ CHF ₂ CHF ₂	H H H	CE _Z OMe E E E	N(Et) 2 N(Et) 2 N(Et) Pr N(Et) Bu N(Pr) 2	67- 69 91- 92 88- 90 104-105
1-260 1-261 1-262 1-263	CHF ₂ CHF ₂ CHF ₂ CHF ₂	Н Н Н	H H H	N (Pr-i) ₂ N (Bu) ₂ N (Bu-i) ₂ N (CH ₂ CH ₂ CN) ₂	41- 43 79- 81 117-119 94- 96
1-264 1-265 1-266 1-267	CHF ₂ CHF ₂ CHF ₂ CHF ₂	H H H	H H	N (CH ₂ CH ₂ OH) ₂ N (Me) ₂ N (Me) Bt N (Me) Pr	125-126 152-154 1. 5392 1. 5341
I-268 I-269 I-270 I-271	CHF ₂ CHF ₂ CHF ₂ CHF ₂	н н н	H H H	N (Me) Bu NHEt NHPr-c NHPr	109-110 188-190 126-128 166-167
1-272 1-273 1-274 1-275	CHF ₂ CHF ₂ CHF ₂ CHF ₂	н н н	H H H	NHPr-i NHBu NHBu-i NHBu-t	134-136 152-153 125-126 39- 40
1-276 1-277	CHF ₂ CHF ₂	H	H H	NHPen NH-	81- 83 109-111

[0040]

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	融点(°C)
1-278	CHF ₂	H	H	NHC ₆ H ₁₃	76- 78
1-279	CHF ₂	Ħ	H	NHCH ₂ CF ₂ CF ₃	1. 4944
1-280	CHF ₂	H	H	NHCH ₂ CF ₃	1. 5000
1-281	CHF ₂	H	H	NHCH ₂ CH=CH ₂	137-138
1-282	CHF ₂	H	H	NHCH ₂ C≡CH	87- 88
1-283	CHF ₂	H	H	NHCH_CH_OMe	122-123
I-284	CHF2	Ħ	Ħ	NHBn	105-106
1-285	CHF ₂	H	H	NHMe	174-175
1-286	CHF ₂	H	Ħ	NHNHCOMe	74- 75
1-287	CHF ₂	H	H	NHNHCOPh	82- 84
I-288	CHF ₂	H	Ħ	NHNHMe	1. 5385
1-289	CHF ₂	H	H	NHN (Ma) ₂	145-146
1-290	CHF ₂	H	E	NHPh	145-146
1-291	CHF ₂	H	H	NHPh (2-0Me)	128-129
1-292	CHF ₂	H	Æ	NHPh (3-OMe)	165-168
1-293	CHF ₂	Ħ	H	NHPh (4-OMe)	1. 5452
1-294	CHF ₂	H	H	-1/	1. 5396
1-295	CHF ₂	H	H	-N_N-Me	1. 5342
1-296	CHF ₂	H	H	-xCo	143-144
1-297	CHF ₂	3-F	Ħ	- N O	174-175
1-298	CHF ₂	3-F	Н	N(Et) ₂	119-120
1-299	CHF ₂	3-F	H	NHPr	111-112
1-300	CHF ₂	3-F	П	NHPr-i	143-145
1-301	CHF ₂	5- F	H	-r _ 0	1. 5232
1-302	CHF ₂	5-P	Ħ	N(Et) ₂	113-114

[0041]

【表11】

化合物 番 号	R ¹	r ²	R ³	R	融点(°C) 批加折 率(n _D 20)
					В
1-303	CHF ₂	5-F	H	N(Pr) ₂	124-125
I-304	CHF ₂	5-F	H	N(Pr-i) ₂	137-139
1-305	CHF ₂	5-F	H	N (Bu) 2	113-114
1-306	CHF ₂	5-F	H	N (Bu-1) 2	147-149
1-307	CHF ₂	5-F	H	N (Bu-s)	137-138
1-308	CHF ₂	5-F	H	N (CH ₂ CH ₂ OH) ₂	128-129
1-309	CHF2	5-F	H	N (Me) 2	82- 83
I-310	CHF ₂	5-F	H	NHBt	195-197
I-311	CHF ₂	5-F	H	NHPr	178-179
1-312	CHF ₂	5-F	H	NHPr-i	180-181
1-313	CHF ₂	5-F	H	NHBu	192-193
I-314	CHF ₂	5-F	H	NHBu-i	149-151
I-315	CHF ₂	5-F	H	NHBu-s	143-145
1-316	CHF ₂	5-F	H	NHBu-t	49- 50
1-317	CHF ₂	5-F	H	NHCH ₂ C≡CH	140-141
1-318	CHF ₂	5-F	H	NHPr-e	154-155
1-319	CHF ₂	5-F	H	NHCH ₂ CF ₃	1. 4994
1-320	CHF ₂	5-F	H	NHCH2CH=CH2	167-169
1-321	CHF ₂	5-F	H	NHCH ₂ CH ₂ OMe	113-114
1-322	CHF ₂	5-F	H	NHBn	138-139
1-323	CHF ₂	5-F	H	NHMe	208-210
1-324	CHF ₂	5-F	H	NHNHMe	121-123
1-325	CHF ₂	5-F	H	NHNHCOme	168-169
I-326	CHF ₂	5-F	H	NHNHCO ₂ Et	122-124
1-327	CHF2	5~F	H	NHNHPh	136-137
1-328	CHF ₂	5-F	H	NHN (Me) ₂	130-131
1-329	CHF ₂	5-F	H	NHPh .	149-150
1-330	CHF ₂	6-Et	H	N(Et) ₂	129-130
1-331	CHF ₂	6-Et	н	N (Bu) 2	116-117
1-332	CHF ₂	6-Et	H	N (Me) 2	148-150
1-333	CHF ₂	6-Et	Ħ	NHEt	202-205
1-334	CHF ₂	8-Et	H	NBPr	194-195

【0042】 【表12】

化合物	1	2	ą		融 点(℃)
	R ¹	R ²	R ³	R	批准
番号					屈折率(n _D ²⁰)
I-335	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	Ħ	N(Et) ₂	142-143
1-336	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	Ħ	NHPr	162-163
1-337	CHF ₂	6-F	H	N(Et) ₂	56~ 59
1-338	CHF ₂	6-F	H	N(Pr)2	128-129
1-339	CHF ₂	6-F	H	N (Me) 2	192-193
1-340	CHF ₂	6-P	H	NHE t	187-188
I-341	CHF ₂	6-F	H	NHBu	159-160
1-342	CHF ₂	6-F	H	NHMe	209-210
I-343	CHF ₂	6-Me	H	N(Et) ₂	118-120
I-344	CHF ₂	6-Me	H	N(Pr)2	133-134
1-345	CHF ₂	6-Me	H	NHEt	204-205
1-346	CHF ₂	6-Me	H	NHPr	18 5-166
1-347	CHF ₂	6-0 % e	H	N(Et) ₂	93- 94
I-348	CHF ₂	6-016e	H	N (Et) Bu	測定不可
1-349	CHF ₂	6-0 % e	H	N (Me) ₂	118-119
1-350	CHF ₂	6-0 % e	H	NHEt	209-210
1-351	CHF ₂	6-OMe	H	NHBu	132-133
1-352	CHF ₂	6-CH ₂ Ome	H	-x_o	測定不可
1-353	CEF ₂	6-CH ₂ OMe	Ħ	N(Et) ₂	124-125
1-354	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	N (Et) Bu	78- 80
1-355	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	N(Pr)2	123-124
1-356	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	N (Pr-1) 2	68- 70
1-357	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	Ħ	N (Bu) 2	89- 90
1-358	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	N (Me) 2	159-160
1-359	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHEt	188 -189
1-360	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHPr	189-190
1-361	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHPr-i	197-198
1-362	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHBu	175-176
1-363	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHPen	173-174
1-364	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NH-	185-167

[0043]

化合物 番号	R ¹	R ²	R ³	R	融 点(°C)
I-365	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHMe	198-200
1-366	CHF ₂	6-Pr	H	N(Et) ₂	123-125
1-367	CHF ₂	6-Pr	Ħ	N(Pr)2	139-141
1-368	CHF ₂	6-Pr	H	N (Me) 2	185-166
I-369	CHF ₂	6-Pr	H	NHEt	210-211
1-370	CHF ₂	6-Pr	H	NHPr	198-200
1-371	CHF ₂	6-P r	H	NHPr-i	156-158
1-372	CHF ₂	6-Pr	H	NHMe	180-181
1-373	CHC12	H	H	N(Et) ₂	
I-374	CHC1 ₂	H	H	N(Pr) ₂	
1-375	CHC1 ₂	H	H	N (Me) 2	
1-376	CHC1 ₂	H	H	NHEt	
1-377	CHC12	H	H	NHPr	
1-378	CHC12	H	H	NHPr-i	
1-379	CHC12	H	H	NHMe	
1-380	CHC12	3-F	H	N(Et)2	
1-381	CHC12	3-F	H	N(Pr)2	
1-382	CHC12	3-F	H	N (Me) ₂	
1-383	CHC1 ₂	3-F	H	NHEt _	
1-384	CHC1 ₂	3-F	H	NHPr	
1-385	CHC1 ₂	3-F	H	NHPr-i	
1-386	CHC1 ₂	3-F	H	NHMe	
1-387	CHC1 ₂	5-P	H	N(Et) ₂	
1-388	CHC1 ₂	5-F	H	N(Pr) ₂	
1-389	CHC12	5-F	Ħ	N (Me) ₂	
1-390	CHC12	5-P	H	NHEt -	
1-391	CHC12	5-P	H	NHPr	
1-392	CHC1 ₂	5-P	H	NHPr-i	
1-393	CHC12	5-P	H	NHMe	
1-394	CHC12	6-F	H	N(Et) ₂	
1-395	CHC12	6-F	H	N(Pr) ₂	
1-396	CHC1 ₂	6-F	H	N (Me) 2	

[0044]

【表14】

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	融点(°C) 批址
番号					屈折率(n _D ²⁰)
1-397	CHC12	6-F	H	NHEt	
1-398	CHC12	6-F	H	NHPr	
1~399	CHC12	6-F	H	NHPr-i	
1-400	CHC12	6-P	H	NHDNe	
I-401	CHC12	6-Bt	H	N(Et) ₂	
1-402	CHC12	6-Bt	H	N(Pr)2	
1-403	CHC12	6-Bt	H	N (Me) 2	
1-404	CHC12	6-Bt	H	NHEt	
1-405	CHC12	6-Bt	H	NHPr	
1-406	CHC12	6-Bt	H	NHPr-i	
1-407	CHC1 ₂	6-Bt	H	NHMe	
I-408	CHC12	6-Me	H	N(Et) ₂	
I-409	CHC12	6-Me	H	N(Pr)2	:
I-410	CHC12	6-Me	H	N (Me) 2	
1-411	CHC12	6-Me	H	NHEt	
I-412	CHC12	6-Me	H	NHPr	
1-413	CHC12	6-Me	H	NHPr-i	
I-414	CHC12	6-Me	H	NHMe	
1-415	CHC12	6-0Me	H	N(Et) ₂	
I-416	CHC12	6-01%e	H	N(Pr) ₂	
I-417	CHC12	6-0Me	H	N (Me) 2	
I-418	CHC12	6-OMe	H	NHEt	
1-419	CHC12	6-OMe	H	NHPr	:
1-420	CHC1 ₂	6-0 % e	Ħ	NHPr-i	
I-421	CHC12	6-OMe	H	NHMe	
1-422	CHC12	6-CH ₂ OMe	H	N(Et) ₂	
I-423	CHC12	6-CH ₂ OMe	H	N(Pr)2	
1-424	CHC12	6-CH ₂ OMe	H	N (Me) 2	
1-425	CHC12	6-CH ₂ OMe	H	NHEt	
1-426	CHC12	6-CH ₂ OMe	H	NHPr	
1-427	CHC12	6-CH ₂ OMe	H	NHPr-i	
1-428	CHC12	6-CH ₂ OMe	H	NHMe	

[0045]

【表15】

化合物					融 点(°C)
	R ¹	R ²	R ³	R	独性
番号					屈折率(n _D ²⁰)
I-429	CHC1 ₂	6-Pr	H	N(Bt) ₂	
1-430	CHC12	6-Pr	H	N (Pr) 2	
I-431	CHC12	6-Pr	В	N (Me) 2	
1-432	CHC12	6-Pr	Н	NHBt 2	
I-433	CHC12	6-Pr	H	NHPr	
I-434	CHC12	6-Pr	B	NHPr-i	
1-435	CHC12	6-Pr	H	NHMe	
1-436	CF ₃	3-F	H	N(Bt) ₂	
I-437	CF ₃	3-F	H	N(Pr)2	
1-438	CF ₃	3-F	H	N (Me) 2	•
1-439	CF ₃	3-F	H	NHBt "	
1-440	CF₃	3-F	В	NHPr	
1-441	CF ₃	3-F	В	NHPr-i	
1-442	CF ₃	3-F	В	NHMe	
I-443	CF ₃	5-F	H	N(Bt)2	
I-444	CF ₃	5-F	H	N(Pr)2	
I-445	CF ₃	5-F	H	N OMe) 2	
1-446	CF ₃	5-F	H	NHB t	
1-447	CF ₃	5-F	H	NHPr	
1-448	CF ₃	5-F	В	NHPr-i	
1-449	CF3	5-F	H	NEMe	
1-450	CF3	6-F	H	N(Bt) ₂	
1-451	CF ₃	6-F	н	N(Pr)2	
1-452	CF ₃	6-F	H	N (Me) 2	
I-453	CF ₃	6-F	H	NHB t	
I-454	CF ₃	6-F	B	MHPr	
1-455	CF ₃	6-F	В	NHPT-i	
1-456	CF3	6-F	H	NHMe	
1-457	CF ₃	6- M e	H	N(Bt)2	
1-458	CF ₃	6 -M e	H	N(Pr)	
1-459	CF ₃	6- M e	B	N (Me) 2	,
1-460	CF ₃	6- M e	Н	NHEt	

【0046】 【表16】

化合物					融 点(°C)
'	R ¹	R ²	R ³	R	#cit
 番号					屈折率(n _D ²⁰)
I-461	CF3	6-Me	H	NHPr	
1-462	CF ₃	6-Me	H	NHPr-i	
1-463	CF3	6-146e	H	NHMe	
1-484	CF ₃	6-Et	H	N(Et) ₂	
1-465	CF ₂	6-Bt	H	N(Pr)2	
I-466	CF ₃	6-Et	H	N (Me) ₂	
I-467	CF ₃	6-Bt	H	NHEt	
1-468	CF ₃	6-Et	H	NHPI	
1-469	CF3	6-Bt	H	NHPr-i	
I-470	CF3	6-Bt	H	NHMe	
1-471	CF3	6-Pr	H	N(Et) ₂	
I-472	CF ₃	6-Pr	H	N(Pr) ₂	
1-473	CF ₃	6-Pr	H	N (Me) 2	
I-474	CF ₃	6-Pr	H	NHEt	
1-475	CF ₃	6-P r	H	NHPr	
1-476	CF3	6-Pr	H	NHPr-i	
1-477	CF ₃	6-Pr	H	NHMe	
1-478	CF ₃	6-0Me	H	N(Et) ₂	
I-479	CF ₃	6-0Me	н	N(Pr)2	
I-480	CF ₃	6-01 % e	H	N (Me) 2	
I-481	CF ₃	6- 0 %e	H	NHEt	
1-482	CF ₃	6- 0M e	H	NHPr	
1-483	CF ₃	6-0Me	H	NHPr-i	
1-484	CF ₃	6-0 % e	H	NHMe	
1-485	CF ₃	6-CH ₂ OMe	H	N(Et) ₂	
1-486	CF ₃	6-CH ₂ OMe	H	N(Pr)2	
1-487	CF ₃	6-CH ₂ OMe	H	N (Me) 2	
I-488	CF ₃	6-CH ₂ OMe	H	NHEt	
I-489	CF ₃	6-CH ₂ OMe	H	NHPr	
I-490	CF ₃	6-CH ₂ OMe	н.	NHPr-i	
I-491	CF3	6-CH ₂ OMe	H	NHMe	

[0047]

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	融点(°C)
番号					屈折率(n _D ²⁰)
I-492	CF ₃	H	Н	N (Bt) 2	181-182
1-493	CF ₃	Ħ	Н	N (Bt) Pr	208-210
1-494	CF ₃	H	H	N (Bt) Bu	103-105
1-495	CF ₃	H	Н	N (Bt) Ph	1. 5428
1-496	CF3	H	Н	N (Pr) 2	140-141
1-497	CF3	H	H	N (Pr-i) 2	175-176
1-498	CF3	H	H	N (Bu) 2	110-111
1-499	CF ₃	H	Н	N (Bu-i) 2	158-159
1-500	CF3	H	H	N (Bu-s) 2	127-128
I-501	CF ₃	H	H	N (Pen) 2	1, 5258
1~502	CF ₃	H	H	N (C6H13) 2	1. 5191
I-503	CF3	Ħ	H	N (CH ₂ C≡CH) ₂	1. 5269
I-504	CF3	H	H	n (ch ₂ ch=ch ₂) ₂	1, 5364
1-505	CF ₃	H	H	и (сиуснуон) 2	140-141
I-506	CF ₃	H	H	N (Me) 2	200-201
1-507	CF ₃	H	H	N (Ma) Et	119-121
1-508	CF ₃	H	Н	-r ◯	171-173
I-509	CF ₃	H	н	-n∕_N-Me	76- 78
1-510	CF ₃	H	Н	-n_o	96- 97
1-511	CF ₃	H	Н	-n()	165-166
1-512	CF ₃	H	Н	-N_N	198-199
I-513	CF ₃	Н	н	N (Me) Pr	132-135
I-514	CF ₃	H	н	N (Me) Bu	181-182
1-515	CF ₃	H	Н	N (Me) COMe	159-160
I-516	CF ₃	H	Н	N (Me) Ph	1, 5461
I-517	CF ₃	H	Н	nh ₂	209-211

【0048】 【表18】

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	副 点(TC) 批註
番号					屈折率(n _D ²⁰)
I-518	CF ₃	H	Me	ne ₂	
I-519	CF ₃	H	Bn	NH _Z	
I-520	CF ₃	H	CH ₂ OMe	ne ₂	
I-521	CF ₃	H	H "	nhữ (Me) ₂ Cn	211-212
1-522	CF ₃	H	H	nert	218-220
1-523	CF ₃	H	H	NHPr-c	172-173
1-524	CF3	H	Ħ	NEPr	215-216
1-525	CF ₃	H	H	NHPr-i	168-169
1-526	CF ₃	H	H	NHBu-c	148-149
1-527	CF ₃	H	H	NHBu	204-205
1-528	CF ₃	H	Ħ	NEBu-i	136-137
1-529	CF ₃	H	H	Need-s	174-175
1-530	CF3	H	Ħ	NHBu-t	125-127
1-531	CF3	H	Ħ	NHPen	154-155
1-532	CF ₃	H	H	NEPen-c	143-145
1-533	CF3	H	Ħ	NH-⟨	151-153
1-534	CF3	H	H	NHC6H13	125-127
1-535	CF3	H	H	NHC8H17	145-146
1-536	CF3	Ħ	H	NHCH (Et) 2	183-185
1-537	CF3	H	H	NHCH (Me) Ph	156-158
1-538	CF ₃	H	H	NHCH ₂ C≡CH	144-145
1-539	CF3	H	В	nhch ₂ cf ₃	1, 4947
1-540	CF ₃	H	B	NHCH_CH=CH_	182-184
1-541	CF ₃	H	B	NHCH ₂ CH ₂ CH ₂ SMe	177-179
1-542	CF ₃	H	H	NHCH2CH2OMe	193-195
1-543	CF ₃	H	В	NHBn Z	166-168
I-544	CF ₃	H	H	NHMe	179-181
1-545	CF ₃	H	H	NHCHO	155-157
I-546	CF ₃	H	B	NHCOMe	177-178
1-547	CF ₃	H	H	NHCONHEt	167-168
1-548	CF3	H	H	NHCON (Me) ₂	170-172
1-549	CF ₃	H	Н	NHCCOMe	149-150

【0049】 【表19】

化合物					副 点(°C)
	R ¹	R ²	R ³	R	または または
番号				_	屈折率(n _D ²⁰)
1-550	CF ₃	H	н	NHCSNEMe	76- 78
I-551	CF ₃	H	H	NHNHCOMe	147-149
1-552	CF ₃	H	н	NHNHCOOBt	125-126
1-553	CF ₃	H	H	NHNEME	183-165
1-554	CF3	H	н	NHNHPh	154-155
1-555	CF ₃	H	H	NHPh	139-140
I-556	CF ₃	H	H	NHPh (2-C1)	152-153
1-557	CF ₃	H	H	NHPh (2-Me)	155-156
1-558	CF3	H	H	NHPh (2-0Me)	120-121
I-559	CF ₃	H	H	NHPh (3-C1)	157-158
1-560	CF ₃	H .	H	NHPh (3-Me)	142-143
1-561	CF ₃	H	H	NHPh (3-0Me)	104-105
1-562	CF3	H	н	NHPh (4-C1)	159-161
1-563	CF3	H	H	NHPh (4-Me)	168-170
1~564	CF3	H	H	NHPh (4-0MGe)	146-147
1-565	CF3	H	H	NHSO ₂ CF ₃	166-167
1-566	CP ₃	H	H	NHSO ₂ CH ₂ C1	118-120
I-567	CF3	H	H	NHSO ₂ Me	171-172
I-568	CP3	H	H	N (Ph) 2	145-146
1-569	CH ₂ F	3, 4-F ₂	H	N(Et) ₂	
1-570	CH ₂ F	3, 5-F ₂	H	N(Et) ₂	
I-571	CH ₂ F	3, 6-F ₂	H	N(Et)2	
1-572	CH ₂ F	4, 5-P ₂	H	NŒt)2	
1-573	CH ₂ F	4, 6-F ₂	H	N(Et)2	
1-574	CH ₂ F	5, 6- F 2	H	N(Et)2	
1-575	CH ₂ F	3, 4-Cl ₂	H	N(Et)2	
1-576	CH ₂ F	3, 5-C1 ₂	H	N(Et) ₂	
1-577	CH ₂ F	3, 6-Me ₂	H	N(Et) ₂	
1-578	CH ₂ F	4, 5-Me ₂	H	N(Et) ₂	
1-579	CH ₂ F	4, 6- (OMe) 2	H	N(Et) ₂	
1-580	CH ₂ F	5, 6-(OMe) ₂	H	N(Et) ₂	

【0050】 【表20】

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	融 点(°C) 掛
番号	, a	*		IX	屈折率(n _D ²⁰)
I-581	CH ₂ Br	3, 4-F ₂	B	N(Bt)2	
1-582	CH _Z Br	3, 5-F ₂	H	N(Et) 2	
I-583	CH ₂ Br	3, 6-F ₂	Н	N(Et)2	
I-584	CH ₂ Br	4, 5-F ₂	B	N(Et)	
I-585	CH ₂ Br	4.6-F ₂	B	N(Bt)2	
I-586	CH ₂ Br	5, 6-F ₂	H	N (Et) 2	
I-587	CH ₂ Br	3, 4-C1 ₂	H	N(Bt)2	
1-588	CH ₂ Br	3, 5-C1 ₂	H	N(Et)2	
1-589	CH ₂ Br	3, 6-Me ₂	H	N(Bt)2	
I-590	CH _Z Br	4,5-Me ₂	H	N(Bt)2	
I-591	CH ₂ Br	4, 6- (OMe) ₂	H	N(Et)2	
1-592	CH ₂ Br	5, 6-(OMe) ₂	B	N(Bt)2	
1-593	CH ₂ C1	3, 4-F ₂	В	N(Bt)2	
1-594	CH ₂ C1	3, 5-F ₂	H	N(Bt)2	
1-595	CH ₂ C1	3, 6-F ₂	В	N (Et) 2	
1-596	CH ₂ C1	4, 5-F ₂	H	N(Bt)2	
1-597	CH ₂ C1	4, 6-F ₂	B	N(Bt)2	
1-598	CH ₂ C1	5. 6-F ₂	Н	N(Et)2	
1-599	CH ₂ C1	3, 4-C1 ₂	H	N(Bt)	
I-600	CH ₂ C1	3, 5-C1 ₂	B	N (Et) 2	
1-601	CH ₂ C1	3. 6-Me ₂	B	N(Et)2	
1-602	CH ₂ C1	4, 5-Me ₂	B	N(Et)2	
1-803	CH ₂ C1	4,6-(0Me) ₂	H	N(Bt)2	
I-604	CH ₂ C1	5, 6- (OMe) 2	H	N(Et)Z	
1-605	CH ₂ CN	3, 4-F ₂	H	N(Bt)2	
1-606	CH ₂ CN	3. 5-F ₂	H	N(Bt)2	
1-807	CH ₂ CN	3, 6-F ₂	H	N(Et)2	
1-808	CH ₂ CN	4, 5-F ₂	H	N(Et)2	
1-609	CH ₂ CN	4, 6-F ₂	H	N(Et)2	
I-610	CH ₂ CN	5, 6-F ₂	B	N(Bt)2	
1-611	CH ₂ CN	3. 4-CĪ ₂	B	N(Bt) ₂	
1-612	CH ₂ CN	3, 5-C1 ₂	H	N(Bt) ₂	

[0051]

【表21】

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	融点(°C) 劫は
番号					屈折率(n _D ²⁰)
I-613	CH ₂ CN	3, 6-Me ₂	H	N(Et)2	
1-614	CH ₂ CN	4, 5-Me ₂	H	N(Et) 2	
1-615	CH ₂ CN	4, 6- (OMe) ₂	H	N(Et)2	
1-616	CH ₂ CN	5, 6-(OMe) 2	н	N(Et)2	
1-617	CHF ₂	3, 4-F ₂	H	N (Bt) 2	
I-618	CHF ₂	3, 5-F ₂	H	N(Et) 2	
I-619	CHF ₂	3, 6-F ₂	B	N(Bt) 2	
1-620	CHF ₂	4, 5-F ₂	Н	N(Et)2	
1-621	CHF ₂	4.6-F ₂	H	N(Bt)2	
I-622	CHF ₂	5, 6-F ₂	H	N(Bt)	
1-623	CHF ₂	3, 4-C1 ₂	H	N(Et)	
I-624	CHF ₂	3, 5-C1 ₂	В	N(Bt)2	
1-625	CHF ₂	3, 6-Me ₂	В	N(Et)2	
1-626	CHF2	4,5-Me ₂	H	N (Bt) 2	
1-627	CHF ₂	4,6-(OMe) ₂	H	N(Et) 2	
1-628	CHF ₂	5, 6- (OMe) 2	H	N(Et) ₂	
1-629	CHCI ₂	3, 4-F ₂	H	N(Bt)2	
1-630	CHC12	3. 5-F ₂	H	N(Bt)2	
1-631	CHC1 ₂	3, 6-F ₂	H	N(Bt) ₂	
1-632	CHC12	4, 5-P ₂	H	N(Et)2	
I-633	CHC1 ₂	4, 6-F ₂	H	N(Bt)	
I-634	CHC12	Б, 6-F ₂	H	N(Bt)2	
1-635	CHC1,	3, 4-Cl ₂	Ħ	N(Et)2	
1-636	CHC1 ₂	3, 5-C1 ₂	B	N (Et) 2	
1-637	CHC1 ₂	3, 6-Me ₂	Ħ	N(Bt)2	
1-638	CHC1 ₂	4, 5-Me ₂	B	N(Et)	
1-639	CHC1 ₂	4,6-(0Me) ₂	B	N(Et)2	
1~640	CHC1 ₂	5, 6- (OMe) 2	H	N(Et) ₂	
1-641	CF3	3, 4-F ₂	В	N(Et) 2	
I-642	CF3	3, 5-F ₂	Ħ	N(Bt) ₂	
1-643	CF ₃	3, 6-F ₂	H	N(Bt)	
I-B44	CF3	4, 5-F ₂	H	N (Bt) 2	

【0052】 【表22】

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	融点(°C) 統 統
番号					屈折率(n _D ²⁰)
I-645	CF ₃	4, 6-F ₂	Н	N(Bt)2	
1-646	CF ₃	5.6-F ₂	Н	N(Et) 2	
1-647	CF ₃	3, 4-C1 ₂	H	N(Et) 2	
1-848	CF ₃	3, 5-C1 ₂	H	N(Et)2	
1-649	CF3	3.6-14e ₂	Н	N (Bt) 2	
1-650	CF ₃	4,5-14e ₂	H	N(Et)	
I-651	CF3	4,6-(OMe) ₂	Н	N (Bt) 2	
1-652	CF ₃	5,6-(OMe)2	H	N (Et) 2	
I-653	CH2CH=CHC1	H	Н	N(Bt)2	
I-654	CH2CH=CHC1	H	H	N(Pr)2	
I-655	CH2CH=CHC1	H	H	N (Me) 2	
1-656	CH2CH=CHC1	H	H	NHEt	
1-657	CH2CH=CHC1	Н	H	NHPT	
I-658	CH2CH=CHC1	Н	H	NHPr-i	
1-659	CH_CH=CHC1	H	H	NEMe	
1-660	CH2CH=CHC1	3-F	H	N (Et) 2	
1-661	CH ₂ CH=CHC1	3-F	H	N(Pr)2	
1-662	CH ₂ CH=CHC1	3-F	H	N (Me) 2	
1-863	CH ₂ CH=CHC1	3-F	H	NHBt _	
1-664	CH2CH=CHC1	3-F	H	NHP r	
I-665	CH2CH=CHC1	3-F	H	NHPr-i	
I-666	CH ₂ CH=CHC1	3-F	Н	NEMe	
I-667	CH ₂ CH=CHC1	5-F	H	N(Et) ₂	
I-668	CH ₂ CH=CHC1	5-F	H	N (Pr) 2	
1-669	CH ₂ CH=CHC1	5-F	H	N (Me) 2	
1-670	CH ₂ CH=CHC1	5-F	H	NHRt _	
1-671	CH ₂ CH=CHC1	5-F	H	NHPr	
1-672	CH ₂ CH=CHC1	5-F	H	NHPr-i	
1-673	CH ₂ CH=CHC1	5-F	H	NHMe	
I-674	CH ₂ CH=CHC1	6-F	H	n (Et) 2	
I-675	CH ₂ CH=CHC1	6-F	H	N(Pr)	
J-876	CH ₂ CH=CHC1	6-F	H	N (Me) 2	

[0053]

化合物	R^{1}	R ²	R ³	R	融 点(℃)
1-677	CH_CH=CHC1	6-F	н	NHEt	
1-678	CH ₂ CH=CHC1	6-F	H	NHPr	
1-679	CH ₂ CH=CHC1	6-F	H	NHPr-i	
1-880	CH ₂ CH=CHC1	6-F	H	NEMe	
I-681	CH ₂ CH=CHC1	6-14e	H	N (Et) 2	
1-682	CH ₂ CH=CHC1	6–Me	Ħ	N(Pr) ₂	
I-683	CH ₂ CH=CHC1	6–Me	H	N (Me) 2	
1-684	CH_CH=CHC1	6–Mae	H	NHEt 2	
1-685	CH2CH=CHC1	6-Me	H	NHPr	
1-686	CH_CH=CEC1	6–Mae	H	NHPr-i	
1-687	CH ₂ CH=CHC1	6−Me	H	NEMe	
I-688	CH2CH=CEC1	6-Et	H	N(Et) ₂	
I-680	CH2CH=CHC1	6–Et	H	N(Pr)2	
1-690	CH2CH=CEC1	6–Et	H	N (Me) 2	
I-691	CH2CH=CEC1	6-Et	H	NHE t	
1-692	CH2CH=CHC1	6-Et	H	NHPr	
1-693	CH_CH=CHC1	6-Et	H	NHPr-i	
1-694	CH2CH=CHC1	6-Et	H	NEMe	
1-895	CH2CH=CHC1	6-Pr	H	N(Et)2	
1-696	CH2CH=CHC1	6-Pr	H	N(Pr)2	
1-697	CH2CH=CHC1	6-Pr	H	N (Me) 2	
1-698	CH_CH=CHC1	6-Pr	H	nnet "	
1-699	CH_CH=CHC1	6-Pr	H	NEPr	
1-700	CH_CH=CHC1	6-Pr	H	NHPr-1	
1-701	CH2CH=CHC1	6-Pr	Ħ	NEMe	
1-702	CH2CH=CHC1	6-0Me	H	N (Et) 2	
1-703	CH2CH=CEC1	6-0 <u>M</u> e	H	N (Pr) 2	
1-704	CH2CH=CHC1	6-0Me	H	N (Me) 2	
1-705	CH2CH=CHC1	6-0Me	H	NHEt 2	
1-706	CH2CH=CHC1	6-0Me	H	NHPr	
1-707	CH_CH=CHC1	6-0Me	H	NHPr−i	
1-708	CH ₂ CH=CHC1	6-0Me	H	NIMe	

[0054]

【表24】

化合物	1	_2	R ³	_	融 点(°C)
	R^1	R^2	R	R	秋堰折
番号					鄰 (n _D ²⁰)
I-709	CH2CH=CHC1	6-CH ₂ OMe	H	N(Et)2	
I-710	CH ₂ CH=CHC1	6-CH ₂ OMe	H	N(Pr)2	
I-711	сн_сн=снс1	6-CH_OMe	H	N (054e) 2	
I-7 12	CH2CH=CHC1	6-CH ₂ OMe	H	NHEt	
I-713	СН ² СН=СНС1	6-CH ₂ OMe	H	NHPr	
I-714	CH2CH=CHC1	6-CH ₂ OMe	H	NHPr-i	
I-715	CH ₂ CH=CHC1	6-CH ₂ OMe	H	NHMe	
I-716	CH2CH=CHC1	3, 4-F ₂	H	N(Et)2	
1-717	сн ₂ сн=снс1	3, 5-F ₂	H	N(Et)2	
I-718	СН ₂ СН=СНС1	3, 6-F ₂	Ħ	N (Et) 2	
I-719	CH2CH=CHC1	4, 5-F ₂	H	N(Et)2	
I-720	CH ₂ CH=CHC1	4, 6-F ₂	H	N(Et)2	
I-721	СН ² СН=СНСЛ	5, 6-P ₂	H	N(Et)2	
I-722	CH2CH=CHCI	3, 4-C1 ₂	H	N(Et)2	
I-723	CH2CH=CHC1	3, 5-C1 ₂	H	N (Et) 2	
I-724	CH2CH=CHC1	3,6-Me ₂	H	N(Et)2	
I-725	CH2CH=CHC1	4,5-Me ₂	H	N(Et)2	
I-726	CH ² CH=CHC1	4, 6- (OMe) 2	H	N(Et)2	
I-727	CH2CH=CHC1	5,6-(OMe) ₂	н	N(Et)2	
I-728	CHF ₂	3-F	H	N (Me) 2	123-124
1-729	CHF ₂	3-F	H	N (Et) Pr	
I-730	CHF ₂	3-F	H	N (Et) Bu	
I-731	CHP ₂	3-F	H	N(Pr) ₂	
I-732	CHF ₂	3-F	Н	N(Pr-i) ₂	
I-733	c⊞ ₂	3-F	H	N (Bu) 2	
I-734	CHF ₂	3-F	H	N (Bu-i) 2	
I-735	CHPZ	3-F	H	N (CH ₂ CH ₂ CN) ₂	
I-736	CHF ₂	3-F	Ħ	N (CH ₂ CH ₂ OH) ₂	
I-737	CHF ₂	3-F	H	N (Mse) Bt	
1-738	CHF ₂	3-F	Ħ	N (Me) Pr	
I-739	CHF ₂	3-F	H	N (Me) Bu	
I-740	CHP ₂	3-F	H	NHMe	199-200

【0055】 【表25】

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	融点(°C) 秋頃折
番号			"	.	\$\$ (n _D 20)
I-741	CHF ₂	3-F	н	NHEt	169-170
I-742	CHF ₂	3-F	H	NHPr-c	
I-743	CHF ₂	3-F	H	NHBu	
I-744	CHP ₂	3-F	H	NHBu-i	
I-745	CHF ₂	3-F	H	NHBu-t	
I-746	CHF ₂	3-F	H	NHPen	
I-747	CHP ₂	3-F	H	NH-C	
I-748	CHP ₂	3-F	H	NHC ₆ H ₁₃	
I-749	CHF ₂	3-F	H	NHCH2CF2CF3	
I-750	CHF ₂	3-F	H	NHCH _Z CF ₃	
I-751	CHF ₂	3-F	H	NHCH2CH=CH2	
I-752	CHF ₂	3-F	H	NHCH ₂ C≡CH	
I-753	CHF ₂	3-F	H	NHCH ₂ CH ₂ OMe	129-130
I-754	CHF ₂	3-F	H	NHCH ₂ Ph	
I-755	CHP ₂	3-F	H	NHNHCOMe	
I-756	CHF ₂	3-P	H	NHNHCOPh	
I-757	CHF ₂	3-F	H	NHNHMe	1.5410
I-758	CHF ₂	3-F	H	NHN (Me) ₂	129-131
I-759	CHP ₂	3-F	Ħ	NHPh	
I-760	CHP ₂	3-F	Ħ	NHPh (2-OMe)	
I-761	CHF ₂	3-F	Ħ	NHPh (3-OMe)	
I-762	CHF ₂	3-F	H	NHPh (4-OMe)	
I-763	CHP ₂	3-F	H	-Þ	
I-764	CHF ₂	3-F	H	-N_N-Me	
I-765	CHF ₂	6-Et	H	-N	
I-766	CHF ₂	6-Et	H	- NN-Me	
I-767	CHP ₂	6-Bt	H	-x_o	

【0056】 【表26】

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	融点(°C) 秋城斯
番号	-		-		率 (n _D ²⁰)
I-768	CHF ₂	6-Rt	н	N (Et) Pr	
I-769	CHF2	6-Et	H	N (Et) Bu	
I-770	CHF ₂	6-Et	H	N(Pr) ₂	
I-771	CHF ₂	6-Et	H	N(Pr-i) ₂	
1-772	CHF ₂	6-Bt	H	N (Bu-i) 2	
I-773	CHP ₂	6-Et	H	N (CH ₂ CH ₂ CN) ₂	
I-774	CHP ₂	6-Bt	H	N (CH ₂ CH ₂ OH) 2	
I-775	CHF ₂	6-Et	H	N (MBe) Et	
I-776	CHP2	6-Bt	H	N (Me) Pr	
I-777	CHF ₂	6-Et	H	N (Me) Bu	
I-778	CHF ₂	6-Et	H	NHMe	
I-779	CHF ₂	6-Et	H	NHPr-c	
I-780	CHF ₂	6-Bt	н	NHPr-i	
I-781	CHP ₂	6-Bt	H	NHĐu	
I-782	CHP ₂	6-Et	H	NHBu-1	
I-783	CHP ₂	6-Bt	H	NHBu−t	
I-784	CHF ₂	6-Et	H	NHPen	
I-785	CHF ₂	6-Et	H	ин-	
I-786	CHF ₂	6-Bt	H	NНС ₆ Н ₁₃	
I-787	CHP ₂	6-Et	H	NHCH _Z CP _Z CP ₃	
I-788	CHF ₂	6-Bt	H	NHCH ₂ CF ₃	
I-789	CHF ₂	6-Bt	H	NHCH2CH=CH2	
I-790	CHP ₂	6-Et	H	NHCH ₂ C≡CH	
I-791	CHP ₂	6-Et	H	NHCH ₂ CH ₂ OMe	
I-792	CHF ₂	6-Bt	H	NHCH ₂ Ph	
I-793	CHF ₂	6-Et	H	NHNHCOMe	
I-794	CHF ₂	6-Et	H	NHNHCOPh	
I-795	CHP ₂	6-Bt	H	NHNHMe	
I-796	CHF2	6-Bt	H	NHN (Me) 2	
I-797	CHF ₂	6-Bt	H	NHPh	
I-798	CHF ₂	6-Et	H	NHPh (2-0Me)	
I-799	CHP ₂	6-Bt	H	NHPh (3-0Me)	

【表27】

[0057]

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	融 点(°C) 試版阻折 率(n _D ²⁰)
I-800	CHF ₂	6-Rt	H	NHPh (4-OMe)	
	_				
I-801	CHF ₂	6-Pr	H	-N	
			_		
1-802	CHF2	6-Pr	H	-n∕_jn-Me	
I-803	CHP ₂	6-P r	H	- ৸ _o	
1 000	2	0 11	"	,°	<u>'</u>
I-804	CHF ₂	6-Pr	H	N (Et) Pr	
I-805	CHF2	6-Pr	H	N (Et) Bu	
I-806	CHP ₂	6-Pr	H	N(Pr-i) ₂	
I-807	CHF ₂	6-Pr	H	N (Bu) 2	
1-808	CHF ₂	6-Pr	H	N (Bu-i) ₂	
I-809	CHF ₂	6-Pr	H	N (CH ₂ CH ₂ CN) ₂	
I-810	CHF2	6-P r	H	N (CH ₂ CH ₂ OH) 2	
I-811	CHF2	6-Pr	H	N (Mse) Et	
1-812	CHF ₂	6-Pr	H	N (Me) Pr	
I-813	CHF ₂	6-Pr	Ħ	N (Mse) Bu	
I-814	CHF ₂	6-Pr	H	NHPr-c	
I-815	CHF ₂	6-P r	H	NHBu	
I-816	CHF ₂	6-Pr	H	NHBu-i	
I-817	CHF ₂	6-Pr	H	NHBu-t	
I-818	CHP ₂	6-Pr	H	NHPen	
I-819	CHP ₂	6-P r	H	NH-	
I-820	CHF ₂	6-Pr	H	инс ₆ н ₁₃	
I-821	CHF ₂	6-Pr	H	NHCH2CF2CF3	
I-822	CHF ₂	6-Pr	H	NHCH ₂ CP ₃	
1-823	CHP ₂	6-Pr	H	NHCH ₂ CH=CH ₂	
I-824	CHP ₂	6-Pr	H	NHCH ₂ C≡CH	
I-825	CHF ₂	6-Pr	H	NHCH ₂ CH ₂ OMe	
I- 8 26	CHF ₂	6-Pr	H	NHCH ₂ Ph	
I-827	CHF ₂	6-Pr	H	NHNHCOMe	

【0058】 【表28】

化合物	R ¹	R ²	R ³	R	融点(°C) 計幅折
番号					鄰 (n _D ²⁰)
I-828	CHF ₂	6-Pr	H	NHNHCOPh	
1-829	CHF ₂	6-Pr	Ħ	NHNHMe	
I-830	CEF ₂	6-P r	H	NHN (Me) ₂	
I-831	CHF ₂	6-Pr	H.	NHPh Z	
I-832	CHF2	6-Pr	H.	NHPh (2-0Me)	
I-833	CEF ₂	6-Pr	н	NHPh (3-OMe)	
I-834	CHP2	6-P r	H	NHPh (4-0Me)	
	2				
I-835	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	-M_	
	4	2)	
I-836	CHP ₂	6-CH ₂ OMe	H	-N(_)N-Me	
	2	٤			
I-837	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	N (Bu-i) 2	
I-838	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	N (CH ₂ CH ₂ CN) ₂	
I-839	CHP ₂	6-CH_OMe	H	N (CH ₂ CH ₂ OH) 2	
I-840	CHP ₂	6-CH ₂ OMe	H	N (Mae) Et	
I-841	CHP ₂	6-CH_0MMe	н	N (Me) Pr	
I-842	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	N (Me)Bu	
I-843	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHPr-c	
I-844	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHBu-i	
I-845	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHBu-t	
I-846	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHC _B H ₁₃	
I-847	CHF ₂	6-CH_OMe	H	NHCH ₂ CF ₂ CF ₃	
I-848	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHCH _Z CP ₃	
I-849	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHCH ₂ CH=CH ₂	
I-850	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHCH ₂ C≡CE	1, 5291
I-851	CHP ₂	6-CH ₂ OMJe	H	NHCH2CH2OMe	
I-852	CHP ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHCH _Z Ph	
I-853	CHP ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHINHCOMe	
I-854	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	Ħ	NHNHCOPh	
I- 855	CHF ₂	6-C⊞ ₂ OMAe	H	NHNHMe	
1-856	CHP ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHN (Me) ₂	140-142

[0059]

化合物 番号	R ¹	\mathbb{R}^2	R ³	R	融点(°C)
	a			17171	
I-857	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHPh	
I-858	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHPh (2-OMe)	
I-859	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHPh (3-ONe)	
I-860	CHP ₂	6-CH ₂ OMe	H	NHPh (4-OMe)	
I-861	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	-rC	
I-862	CHP ₂	6-CH ₂ OEt	H	-n∑n -Me	
I-863	CHF ₂	6-CH _Z ORt	Ħ	-xCo	
I-864	CHP ₂	6-CH ₂ OEt	H	N (Me) ₂	
I-865	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	N (Et) Pr	
I-866	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	N (Et) Bu	
I-867	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	N(Pr)2	
I-868	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	N(Pr-i) ₂	
I-869	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	N (Bu) 2	
I-870	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	N (Bu-i) 2	
I-871	CHF ₂	6-CH_OEt	H	N (CH ₂ CH ₂ CN) ₂	
I-872	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	N (CH ₂ CH ₂ OH) 2	
I-873	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	N (Me) Et	
I-874	CHF ₂	6-CH_OEt	H	N (Me) Pr	
I-875	CHP ₂	6-CH_OEt	H	N (Mse) Bu	
I-876	CHP ₂	6-CH ₂ OEt	H	NHDe	
I-877	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	NKEt	
I-878	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	NHPr-c	
I-879	CHP ₂	6-CH_OEt	H	NHPr-i	
088-1	CHP ₂	6-CH _Z OEt	H	NHBu	
I-881	CHP ₂	6-CH ₂ OEt	H	NHBu-i	
I-882	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	NHBu−t	
I-883	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	Ħ	NHPen	
I-884	CHF2	6-CH ₂ OEt	H	NIH-	

[0060]

化合物番号	R ¹	R ²	R ³	R	融点(℃) 計幅折 率(n _D 20)
I-885 I-886 I-887 I-888 I-889 I-890 I-891 I-892 I-893 I-894 I-895 I-896 I-897 I-898 I-899 I-900 I-901	CHF ₂	6-CH ₂ OBt	H H H H H H H H H H H H H H H H H H H	MHC ₈ H ₁₃ NHCH ₂ CF ₂ CF ₃ NHCH ₂ CF ₂ CF ₃ NHCH ₂ CH ₂ CH ₂ CH ₂ NHCH ₂ CH ₂ CMe NHCH ₂ CH ₂ OMe NHCH ₂ Ph NHNHCOME NHNHCOME NHNHMe NHN (Me) ₂ NHPh NHPh (2-OMe) NHPh (3-OMe) NHPh (4-OMe) N (Bt) Pr N (Me) CH ₂ C = CH	102-103
I-902	CHF ₂	H	Н	^{NH} 2	166-168

[0061]

【表31】

化合物 番号	R ¹	R ²	R ³	R ⁶	融 点(℃)
番号 II-1 II-2 II-3 II-4 II-5 II-6 II-7 II-8 II-9 II-10 II-11 II-12 II-13 II-14 II-15 II-16 II-17 II-18 II-19 II-20 II-21 II-22 II-23 II-24		н н н н н н н н н н н н н н н н н н н		OME OBt OH Ph Ph(2-C1) NHMe NHSO ₂ CH ₂ F N(Me) OME OBt OH Ph Ph(2-C1) NHMe NHSO ₂ CH ₂ Br N(Me) 2 Me OHE OH Ph Ph(2-C1) NHMe OHE	屈折率(n _p ²⁰)
11-25	CH ₂ C1	4-C1	H	NHSO ₂ CH ₂ C1	

【0062】 【表32】

化合物	R ¹	R ²	R ³	R ⁶	融点(°C) 試址
番号					屈折率(n _D ²⁰)
11-26	CH ₂ C1	H	H	N (Me) 2	
I I-27	CH ₂ C1	H	H	Мe	
11-28	CH ₂ CN	H	H	OMe	
I I-29	CH ₂ CN	H	H	O Bt	
11-30	CH ₂ CN	H	H	O H	
11-31	CH ₂ CN	H	H	Ph	
11-32	CH ₂ CN	H	B	Ph (2-C1)	
11-33	CH ₂ CN	H	H	NHMe	
I I-34	CH ₂ CN	4-C1	H	NHSO ₂ CH ₂ CN	
11-35	CH ₂ CN	H	Ħ	N (Me) 2	
I I-36	CH ₂ CN	H	H	Mie	
I I-37	œr ₂	H	Ð	OMe	
11-38	CHF ₂	H	Ħ	OEt	
I I-39	CHF ₂	Ħ	H	OH	
I I-40	CHF ₂	H	Ð	Ph	
I I-41	CEP ₂	H	H	Ph (2-C1)	
I I-42	CHF ₂	H	В	NEMe	
I I-43	CHF ₂	4-C1	B	neso ₂ cef ₂	
I [-44	CHF ₂	H	H	N (Me) 2	
I I-45	CHF ₂	H	Ħ	Mie	129-130
I I-46	CHC12	H	E	0Me	
I I-47	CHC12	Ħ	H	OBt	
I I-48	CHC12	H	H	HO	
II- 49	CHC12	H	H	Ph	
I I-50	CHC12	H	H	Ph (2-C1)	
I I-51	CHC1 ₂	Ħ	Ħ	NHMe	
I I-52	CHC12	4-C1	H	NHSO ₂ CHC1 ₂	
I I-53	CHC12	H	Ħ	N (Me) 2	
I I-54	CHC12	H	H	Mie	
I I-55	CP₃ ¯	Ħ	Ħ	0Me	89- 91
I I -56	CP ₃	H	Ħ	OBt	106-107

【0063】 【表33】

化合物	R ¹	r ²	R ³	_R 6	融点(°C)
11-57	CF ₃	Н	H	031	216-217
11-58	CF3	H	H	Ph	131-132
11-59	CP3	H	H	Ph (2-C1)	123-124
11-60	CF ₃	H	H	NHMe	79~ 81
11-61	CF ₃	4-C1	H	NHSO ₂ CF ₃	
11-62	CF ₃	H	H	N (Me) 2	121-122
11-63	CF3	H	H	Mue	175-177
11-64	CH2CH=CHC1	H	II	OMe	
11-65	CH2CH=CHC1	H	H	ORt	
11-66	CH2CH=CHC1	H	H	OH	
11-87	CH2CH=CHC1	H	H	Ph	
11-68	CH2CH=CHC1	H	H	Ph (2-C1)	
11-69	CH ₂ CH=CHC1	H	Ħ	NHMe	
11-70	CH2CH=CHC1	4-C1	H	NHSO ₂ CH ₂ CH=CHC1	
11-71	CH2CH=CHC1	H	H	N(Me)2	
11-72	CH2CH=CHC1	H	H	Me	
11-73	CHF2	3-F	Ħ	Ph	
11-74	CHF ₂	3-F	H	Et	
11-75	CHF ₂	3-F	H	Pr-i	
11-76	CHF2	3-F	H	Pr	
11-77	CHF ₂	3-F	H	Me	
11-78	CHF ₂	3-F	H	N (Me) 2	112-113
11-79	CHF ₂	3-F	H	NH ₂	
11-80	CHF ₂	3-F	H	NHMe	123-124
II-81	CHF ₂	3-F	H	NHSO ₂ CHF ₂	
11-82	CHF ₂	6-Et	Ħ	Ph	
11-83	CHF ₂	6-Et	H	Et	
11-84	CHF2	6-Et	H	Pr-i	
11-85	CHF2	6-Et	H	Pr	
II-86	CHF ₂	6-Et	H	Mise	
11-87	CHF ₂	6-Et	H	N (Me) ₂	
11-88	CHF ₂	6-Et	H	NH ₂	

[0064]

化合物 番号	R ¹	R ²	R ³	R ⁶	融 点(°C)
11-89	CHF2	6-Et	H	NHMe	
11-90	CHF2	6-Et	H	NHSO ₂ CHF ₂	
11-91	CHF ₂	6-Pr	H	Ph 2 2	
11-92	CHF ₂	6-Pr	H	Et	
11-93	CHF ₂	6-Pr	H	Pr-i	
II-94	CHF ₂	6-Pr	Ħ	Pr	
11-95	CHF ₂	6-Pr	H	Me	
II-96	CHF ₂	6-Pr	H	N (Me) 2	
II-97	CHF ₂	6-Pr	H	NH ₂	
II-98	CHF2	6-Pr	H	NEDJe	
II-99	CHF ₂	6-Pr	H	neso ₂ cef ₂	
II-100	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	Ħ	Ph	
II-101	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	Et	
II-102	CHF2	6-CH ₂ OMe	Ħ	Pr-i	
II-103	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	Pr	
II-104	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	Me	
II-105	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NOMe) ₂	125-126
II-106	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	NH ₂	
II-107	CHF2	6-CH ₂ OMe	H	NHMe	1. 5602
II-108	CHF ₂	6-CH ₂ OMe	H	nhso ₂ chf ₂	
II-109	CHF ₂	6-CH ₂ ORt	H	Ph	
II-110	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	Et	
II-111	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	Pr-i	
II-112	CHF ₂	6-CH ₂ OBt	H	Pr	
II-113	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	Ħ	Me	
II-114	CHF ₂	8-CH ₂ OEt	H	N (Me) ₂	
11-115	CHF ₂	6-CH ₂ OBt	H	NH ₂	
II-116	CHF2	6-CH ₂ OBt	H	NHMe	
II-117	CHF ₂	6-CH ₂ OEt	H	nhso ₂ chf ₂	
11-118	CHF ₂	5-F	H	Me	128-131
II-119	CHF ₂	H	H	Bu	95- 96
II-120	CHFZ	H	H	Et	107-110

【0065】 【表35】

$$\mathbb{R}^{2} \underset{6}{\overset{1}{\underset{5}{\overset{-}{\bigcup}}}} \overset{OCH_{3}}{\underset{0}{\overset{-}{\bigcup}}}$$

化合物 番号	R ²	触 点(°C) \$20 屈折率(n _D ²⁰)
HII- 1 HII- 2 HII- 3	H 4-F 5-F	145 - 147
111- 4 111- 5 111- 8	6-F 7-F 4-C1	100.000
111- 7 111- 8 111- 9 111-10	5-C1 6-C1 7-C1 4-N e	198-200
111-11 111-12 111-13	5-Me 6-Me 7-Me	
III-14 III-15 III-16 III-17	4-0Me 5-0Me 6-0Me 7-0Me	
III-18 III-19 III-20	4-CH ₂ OMe 5-CH ₂ OMe 6-CH ₂ OMe	
111-21	7-CH ₂ OMe	126-127

【0066】次に、一般式[I]で示される本発明化合物は、以下に示す製造法に従って製造することができるが、これらの方法に限定されるものではない。

【0067】<製造法1> 【0068】

【化5】

(式中、Aは基-C(=O)-、基<math>-CH(OH)-又はQ[ここでQは前記と同じ意味を示す。]を示し、Xはハロゲン原子を示し、 R^1 , R^2 , R^3 , mは前記と同じ意味を示す。)

【0069】一般式[III]で示されるアニリン誘導体1モルに対し、スルホニルハライド誘導体もしくはスルホン酸誘導体の無水物1~2倍モルを無溶媒、或いは適当な溶媒0.5~51中、塩基1~2倍モルの存在下で反応させることにより、一般式[IV]で示される目的のスルホンアニリド誘導体を得ることができる。

【0070】ここで溶媒としてはn-ヘキサン等の炭化水素、シクロヘキサン等の環状炭化水素、トルエン、キシレン等の芳香族炭化水素類、1,4-ジオキサン、テトラヒドロフラン(THF)等のエーテル類、N,N-ジメチルホルムアミド(DMF)等のアミド類、N,N

ージメチルスルホキシド (DMSO)、スルホラン等の 硫黄化合物、キノリン、ピリジン等の芳香族含窒素化合物、N,Nージエチルアニリン等のアニリン誘導体、酢酸、トリフルオロ酢酸等の有機酸、酢酸エチル等のエステル類、クロロホルム等のハロゲン化炭化水素、アセトニトリル等のニトリル類、ニトロベンゼン等の芳香族ニトロ化合物類、メタノール、エタノール等のアルコール類、水等を例示できる。

【0071】また、塩基としては、水素化ナトリウム等の金属水素化物、nーブチルリチウム等の有機金属化合物、ピリジン、トリエチルアミン等の有機塩基、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、炭酸カルシウム等のアルカリ金属またはアルカリ土類金属の炭酸化合物、同水酸化化合物、同炭酸水素化合物、さらにナトリウムメトキシド、カリウム セーブトキシド等のアルコールの金属塩

等を例示できる。

【0072】反応温度は-70℃~250℃の温度範囲で行い、好ましくは-20℃から室温の温度範囲であり、反応時間は5分から1週間で終了する。

【0073】<製造法2>

[0074]

【化6】

$$(\mathbb{R}^{2})_{m}$$

$$\mathbb{C}_{OCH_{3}}$$

$$\mathbb{C}_{OCH_{3}}$$

$$\mathbb{C}_{OCH_{3}}$$

$$\mathbb{C}_{OCH_{3}}$$

$$\mathbb{C}_{OCH_{3}}$$

$$\mathbb{C}_{OCH_{3}}$$

$$\mathbb{C}_{OCH_{3}}$$

(式中、Bは基 $-NHR^3$ 、基 $-NR^3$ (SO_2R^1) 又はニトロ基を示し、m、 R^1 , R^2 , R^3 , R^6 は前記と同意味を示す。)

【0075】一般式 [V] で示されるカルボニル化合物 1 モルに対し、 R^6 NH_2 で示されるアミン類 $1\sim5$ 倍 モルを無溶媒又は適当な溶媒(ベンゼン等の芳香族炭化 水素類、メタノール等のアルコール類等を例示できる。) $0.5\sim5$ 1 中で、脱水縮合させる事により、一般式 [VI] で示される目的のイミン化合物を得ること

ができる。ここで、場合により適当な触媒(四塩化チタン等のルイス酸類、酢酸カリウム等の塩基類等を例示できる。)0.01~2倍モルを添加しても良い。

【0076】反応温度は-70℃~250℃の温度範囲で行い、好ましくは-20℃から150℃の温度範囲であり、反応は5分から1週間で終了する。

【0077】<製造法3>

[0078]

【化7】

(式中、m, B, R^2 , R^4 , R^5 , Xは前記と同じ意味を示す。)

【0079】一般式[VII]で示される化合物1モルの水酸基を、無溶媒又は適当な溶媒(製造法1に記載と同様である。)0.5~51中で、ハロゲン化剤(塩化チオニル等のハロゲン化硫黄類を例示できる。)1~5倍モルを用いてハロゲン化して一般式[VIII]で示される化合物を得た後、無溶媒又は適当な溶媒(製造法1に記載と同様である。)0.5~51中、一般式R4R5NHで示されるアミン類1~5倍モルと反応させることにより、一般式[IX]で示される目的のアミン化合物を得ることができる。ここで、場合により適当な塩基(水素化ナトリウム等の金属水素化物、n-ブチルリ

チウム等の有機金属化合物、ピリジン、トリエチルアミン等の有機塩基、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、炭酸カルシウム等のアルカリ金属またはアルカリ土類金属の炭酸化合物、同水酸化化合物、同炭酸水素化合物、さらにナトリウムメトキシド、カリウム tーブトキシド等のアルコールの金属塩等を例示できる。)1~5倍モルを添加しても良い。

【0080】反応温度は-70°-250°-250°の温度範囲で行い、好ましくは-20°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-250°-2

【0081】<製造法4>

[0082]

【化8】

$$(R^2)_{m} \qquad (R^2)_{m} \qquad R^3 \qquad NSO_2R^1 \qquad N$$

(式中、 L^1 はハロゲン原子、アシルオキシ基、アルキルスルホニルオキシ基、1-4 ミダゾリル基等の脱離基を示し、 R^1 , R^2 , R^3 , Aは前記と同じ意味を示す。)

【0083】一般式 [IVa]で示される化合物(1モル)に対し、一般式 R3-L1で示されるアルキル化剤、アシル化剤又はスルホニル化剤(1~2倍モル)を無溶媒又は適当な溶媒(製造法1に記載と同様である。)0.5~51中、塩基(水素化ナトリウム等の金属水素化物、nーブチルリチウム等の有機金属化合物、ピリジン、トリエチルアミン等の有機塩基、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、炭酸カルシウム等のアルカリ金属またはアルカリ土類金属の炭酸化合物、同水酸化化合物、同炭酸水素化合物、さらにナトリウムメトキシド、カリウム セーブトキシド等のアルコールの金属塩等を例示できる。)1~2倍モルの存在下で反応させることにより、一般式 [IV]で示される目的のスルホンアニリド誘導体を得ることができる。

【0084】反応温度は-70℃~250℃の温度範囲で行い、好ましくは-20℃から100℃の温度範囲であり、反応は5分から1週間で終了する。

【0085】なお、一般的なスルホンアニリド類の製造法に関しては、前述の特表平7-501053号公報明細書及びW096/41799号公報明細書に記載があるほか、ジャーナル・オブ・アグリカルチュラル・フード・ケミストリー(J. Agr. Food Chem.)、第22巻(6)、第1111貢(1974年)等に記載がある。

【0086】次に、一般式[II]で示される本発明化合物及び製造法1~4に記載の一般式[III]、[V]、[VII]で示される中間体の内の幾つかは、例えば化9に示すスキームに従って製造することができるが、これらの方法に限定されるものではない。

[0087]

【化9】

(式中、 L^2 はハロゲン原子又はアルキルスルホニル基等の脱離基を示し、m, R^2 , R^3 , X は前記と同じ意味を示す。)

【0088】<製造法5>

一般式 [XII] 及び [XIV] で示される中間体の製造法。

【0089】一般式 [Xa] 又は [XIII] で示されるベンジルシアニド誘導体1モルと、一般式 [XIa] で示されるピリミジン誘導体1~2倍モルとを無溶媒または適当な溶媒(製造法1に記載と同様である。)0.5~51中で、適当な塩基(製造法1に記載と同様である。)1~5倍モルの存在下で縮合させることにより、目的の一般式 [XII] 又は [XIV] で示される化合物を得ることができる。

【0090】あるいは、一般式 [Xb]で示されるニトロ化合物1モルと、一般式 [XIb]で示されるピリミジン誘導体1~2倍モルとを無溶媒または適当な溶媒(製造法1に記載と同様である。)0.5~51中で、適当な塩基(製造法1に記載と同様である。)1~5倍モルの存在下で縮合させることにより、目的の一般式「XII]で示される化合物を得ることができる。

【0091】いずれの場合も反応温度は-70℃から250℃の温度範囲で行い、好ましくは-20℃から100℃の温度範囲であり、反応は5分から1週間で終了する。

【0092】<製造法6>

一般式 [Va] 及び [Vc] で示される中間体の製造法。

【0093】一般式 [XII] 又は [XIV] で示されるシアン化合物1 モルを、適当な溶媒(製造法1 に記載と同様である。) $0.5\sim51$ 中、酸化剤(m-2 口過安息香酸等の有機過酸類などを例示できる。) $1\sim2$ 倍モルで処理した後、適当な溶媒(水などを例示できる。) $0.5\sim51$ 中、適当な塩基(水酸化ナトリウム等のアルカリ金属類などを例示できる。) $1\sim10$ 倍モルと処理することにより酸化的脱シアノ化反応を行い、一般式 [Va] 又は [Vc] で示される目的のカルボニル化合物を得ることができる。

【0094】反応温度は-70℃から溶媒の沸点の温度 範囲で行い、好ましくは-20℃から100℃の温度範 囲であり、反応は5分から1週間で終了する。

【0095】<製造法7>

一般式 [II] で示される4,6-ジメトキシピリミジン誘導体の製造法。

【0096】一般式 [Vc]で示されるカルボニル化合物1モルを、適当な溶媒(N, N-ジメチルホルムアミド等のアミド類、N, N-ジメチルスルホキシド(DMSO)、スルホラン等の硫黄化合物などを例示できる。)0.5~51中、アジ化ナトリウム等1~5倍モルと処理することにより、一般式 [II]で示される目

的の4, 6 -ジメトキシピリミジン誘導体を得ることができる。

【0097】反応温度は-70℃から溶媒の沸点の温度 範囲で行い、好ましくは-20℃から150℃の温度範囲であり、反応は5分から1週間で終了する。

【0098】<製造法8>

一般式[Vb]及び[VIIb]で示される中間体の製造法。

【0099】一般式[II]で示される4,6ージメトキシピリミジン誘導体あるいは一般式[Va]、[VIIa]で示されるニトロ化合物1モルを、適当な溶媒(製造法1に記載と同様である。)0.5~51中、適当な還元剤(鉄等の金属類などを例示できる。)1~5倍モルで還元することにより、対応する一般式[Vb]及び[VIIb]で示される目的のアミノ化合物を得ることができる。場合により触媒として酸(酢酸等の有機酸類などを例示できる。)0.01~1倍モルを添加しても良い。

【0100】或いは、一般式 [II]で示される4,6 ージメトキシピリミジン誘導体あるいは一般式 [Va]。 [VIIa]で示されるニトロ化合物1モルを、適当な溶媒(製造法1に記載と同様である。)0.5~51中、触媒(パラジウム等の金属類などを例示できる。)0.01~1倍モルの存在下で、適当な還元剤(ギ酸アンモニウム或いは水素等を例示できる。)1~5倍モルで還元することにより、対応する一般式 [Vb]及び [VIIb]で示される目的のアミノ化合物を得ることができる。

【0101】いずれの場合も、反応温度は-70℃から溶媒の沸点の温度範囲で行い、好ましくは-20℃から100℃の温度範囲であり、反応は5分から1週間で終了する。

【0102】<製造法9>

一般式 [VIIa]、 [VIIb] あるいは [VII c] で示される中間体の製造法。

【0103】一般式 [Va]、 [Vb] あるいは [Vd]で示されるカルボニル化合物1モルを、適当な溶媒(製造法1に記載と同様である。)0.5~51中、適当な還元剤(水素化ホウ素ナトリウム等のアルカリ金属水素化錯化合物類などを例示できる。)1~5倍モルで還元することにより、対応する一般式 [VIIa]、

[VIIb] あるいは [VIIc] で示される目的のア ルコール化合物を得ることができる。

【0104】反応温度は-70℃から溶媒の沸点の温度 範囲で行い、好ましくは-20℃から100℃の温度範 囲であり、反応は5分から1週間で終了する。

【0105】<製造法10>

一般式[Vd]で示される中間体の製造法。

【0106】一般式 [Vc]で示される化合物1モルを、無溶媒又は適当な溶媒(製造法1に記載と同様であ

る。) $0.5\sim51$ 中で、一般式 R^3 NH_2 で示される アミン類 $1\sim5$ 倍モルと反応させることにより、一般式 [Vd] で示される目的のアミン化合物を得ることができる。

【0107】反応温度は-70℃から250℃の温度範囲で行い、好ましくは-20℃から150℃の温度範囲であり、反応は5分から1週間で終了する。

【0108】なお、上述の中間体の合成に関しては、ジャーナル・オブ・ケミカル・リサーチ(S)(J. Chem. Research(S))第186頁(1977年)、ヘテロサイクルズ(Heterocycles)第38巻(1)、第125頁(1994年)及びWO94/08975号公報明細書等に類似の反応例が記載されている。

[0109]

【実施例】次に、実施例をあげて本発明化合物の製造法、製剤法及び用途を具体的に説明する。尚、本発明化合物の製造中間体の製造法も合わせて記載する。

【0110】<実施例1>

2' - [1 - (4, 6 - ジメトキシピリミジン-2 - 1 ル) - 1 - (4 - モルホリノ)メチル] - 1, 1 - ジフルオロメタンスルホンアニリド(本発明化合物番号 <math>I - 296)の製造

【0111】(1)2-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-1-(4-モルホリノ)メチル] アニリン(化合物 <math>III)の製造

2-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-1-ヒドロキシメチル]アニリン2.0g(7.7ミリモル)をクロロホルム30mlに溶解し、0℃にて撹拌しつつ塩化チオニル1.0g(8.4ミリモル)を滴下した。0℃から室温にて30分撹拌後、室温にて30分撹拌した後、さらに加熱還流下30分撹拌した。室温にて30分撹拌した後、さらに加熱還流下30分撹拌した。反応液を5%塩酸水にて抽出し、抽出液を飽和重曹水で中和後、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧留去し、残査をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒、酢酸エチル:n-ヘキサン=1:3)で精製し、淡褐色粘稠液体の2-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-1-(4-モルホリノ)メチル]アニリン0.5g(収率20%)を得た。

【 0112】 (2)2'-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-1-(4-モルホリノ)メチル]-1,1-ジフルオロメタンスルホンアニリド(本発明化合物番号<math>I-296)の製造

2-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-1-(4-モルホリノ)メチル]アニリン<math>0.5g(1.5ミリモル)、ピリジン0.3g(3.8ミリモル)をクロロホルム15m1に溶解し、室温にて撹拌しながら1.1-ジフルオロメタンスルホン酸クロリド

0.6g(4.0ミリモル)を滴下した。室温にて3時間撹拌を続けた後、反応液を氷水中にあけ、クロロホルムで抽出した。有機層を水、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧留去し、残査をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒、酢酸エチル:n-ヘキサン=1:3)で精製し、白色粉末(融点:143~144℃)の2'-[1-(4,6-3) ジメトキシピリミジン-2-イル)-1-(4-モルホリノ)メチル]-1, 1-ジフルオロメタンスルホンアニリド0.3g(収率45%)を得た。

【0113】<実施例2>

2'-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-1ル)-1-(メトキシイミノ)メチル]-1,1,1-トリフルオロメタンスルホンアニリド(本発明化合物番号 <math>II-55)の製造

【0114】(1)2'-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルボニル)-1,1,1-トリフルオロメタンスルホンアニリド(化合物V)の製造

2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルボ ニル) アニリン3.0g(11.6ミリモル)、トリエ チルアミン1.5g(14.8ミリモル)をジクロロメ タン50m1に溶解し、0℃にて撹拌しながら1,1, 1-トリフルオロメタンスルホン酸無水物3.9g(1 3.8ミリモル)を約10分間で滴下し、そのまま1時 間撹拌を続けた。反応液を氷水中にあけ5%水酸化ナト リウム水溶液(20m1)で2回抽出し、水層を集め、 10%塩酸で酸性とした後、酢酸エチルで抽出した。有 機層を水、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウム で乾燥した。溶媒を減圧留去し、析出した粗結晶をジイ ソプロピルエーテルで洗浄し、黄土色粉末(融点:10 $2\sim104$ °C) の2' - (4, 6-ジメトキシピリミジ ン-2-イルカルボニル)-1,1,1-トリフルオロ メタンスルホンアニリド3.0g(収率69%)を得 た。

【0115】(2)2'-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン<math>-2-イル)-1-(メトキシイミノ)メチル]-1,1、1ートリフルオロメタンスルホンアニリド(本発明化合物番号 II-55)の製造

2'-(4,6-i)メトキシピリミジン-2-(1)ルボニル)-1,1,1-(1)リフルオロメタンスルホンアニリド3.0g(7.7ミリモル)、酢酸カリウム4.0g(40.8ミリモル)及びメトキシアミン塩酸塩4.0g(47.9ミリモル)をエタノール50m1に懸濁させ、加熱環流下に撹拌した。反応液を氷水中にあけ酢酸エチルで抽出した。有機層を水、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧留去し、残査をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒、酢酸エチル:n-(1)02'-[1-(4,6-i)メトキシピリミジン-(1)02'-[1-(4,6-i)メトキシピリミジン-(1)02'-[1-

(メトキシイミノ) メチル]-1, 1, 1-トリフルオ ロメタンスルホンアニリド <math>0. 9g (収率28%) を得た。

【0116】<実施例3>

2'-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-1-(エチルアミノ)メチル]-6'-メトキシメチル-1,1-ジフルオロメタンスルホンアニリド (本発明化合物番号<math>I-359)の製造

【0117】(1)2'-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-1-ヒドロキシメチル]-6'-メトキシメチル-1,1-ジフルオロメタンスルホンアニリド(化合物VII)の製造

ル) -1-ヒドロキシメチル] -6-メトキシメチルア ニリン4.0g(13.1ミリモル)及びピリジン2. Og(25.3ミリモル)をジクロロメタン30mlに 溶解させ、室温にて撹拌しながら 1,1-ジフルオロ メタンスルホン酸クロリド 3.6g(23.9ミリモ ル)を滴下した。室温にて7日間撹拌を続けた後、反応 液を氷水中にあけ、ジクロロメタンで抽出した。有機層 を5%塩酸水、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシ ウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。残査をシリカゲル カラムクロマトグラフィー(溶出溶媒、酢酸エチル:n -ヘキサン=1:3)で精製し、無色粒状結晶(融点7 $6 \sim 7.7 \%$) の2' $- [1 - (4, 6 - i) \times [4] \times [6 - i]$ ミジンー2ーイル)-1-ヒドロキシメチル]-6'-メトキシメチルー1,1-ジフルオロメタンスルホンア ニリド2.0g(収率36%)を得た。

2'-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-1-ヒドロキシメチル]-6'-メトキシメチル-1,1-ジフルオロメタンスルホンアニリド2.0g(4.8ミリモル)及び塩化チオニル0.7g(5.9ミリモル)をクロロホルム<math>15m1に溶解させ、室温にて2時間撹拌を続けた。溶媒及び過剰の塩化チオニルを減圧留去し、残査をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒、酢酸エチル:n-ヘキサン=1:3)で精製し、淡黄色結晶(融点 $88\sim89$ °)02'- [1-クロロ-1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)メチル]-6'-メトキシメチル-1,1-ジフルオロメタンスルホンアニリド2.0g(収率95%)を得た。

【0119】(3)2'-[1-(4,6-i)メトキシピリミジン-2-イル)-1-(xチルアミノ)メチル]-6'-メトキシメチル-1,1-iジフルオロメタンスルホンアニリド(本発明化合物番号I-359)の製造

2'-[1-0ロロー1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)メチル]-6'-メトキシメチルー1,1-ジフルオロメタンスルホンアニリド 1.0g(2.3ミリモル)をテトラヒドロフラン10mlに溶解させ、室温にて撹拌しながらエチルアミン0.3g(6.7ミリモル)を滴下した。室温にて1時間撹拌を続けた後、溶媒を減圧留去した。残査をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒、酢酸エチル:n-へキサン=1:1)で精製し、淡赤色粉末(融点188~189℃)の2'-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-1-(エチルアミノ)メチル]ー6'-メトキシメチル-1,1-ジフルオロメタンスルホンアニリド0.9g(収率88%)を得た。

【0120】<実施例4>

N-メトキシメチル- 2 '- [1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-1-(ジエチルアミノ)メチル]-1,1-ジフルオロメタンスルホンアニリド (本発明化合物番号I-256)の製造

2'-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イ ルオロメタンスルホンアニリド0.8g(1.9ミリモ ル)及び炭酸カリウム1.0g(7.2ミリモル)を N, N-ジメチルホルムアミド15mlに懸濁させ、室 温にて撹拌しながらクロロメチルメチルエーテル〇.5 g(6.2ミリモル)を滴下した。室温にて3時間撹拌 を続けた後、反応液を氷水中にあけ、酢酸エチルで抽出 した。有機層を水、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグ ネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。残査をシリカ ゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒、酢酸エチ ル: n-ヘキサン=1:5) で精製し、無色結晶 (融点 67~69℃)のN-メトキシメチル-2'-[1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-1-(ジエチルアミノ)メチル]-1,1-ジフルオロメタ ンスルホンアニリド0.8g(収率91%)を得た。

【0121】<実施例5>

3-(4,6-)ジメトキシピリミジン-2-イル) -4 - フルオロ-2, 1-ベンゾイソオキサゾール (本発明 化合物番号 III-2) の製造

2-(2,6-ジフルオロベンゾイル)-4,6-ジメトキシピリミジン 4.0g(14.3ミリモル)およびアジ化ナトリウム1.1g(16.9ミリモル)をN,N-ジメチルホルムアミド30m1に溶解させ、120℃で3時間撹拌した。反応液を室温に戻して氷水中にあけ、酢酸エチルで抽出し、有機層を飽和食塩水にて洗浄後、乾燥した。溶媒を減圧留去し、結晶残査をジイソプロピルエーテルにて洗浄して赤色粉末(融点145~147℃)の3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-4-フルオロ-2,1-ベンゾイソオキサゾール1.8g(収率46%)を得た。

【0122】(中間体の製造例)

<参考例1>

(1) 2-(2-ニトロフェニル) -2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル) アセトニトリル (化合物XII) の製造

【0123】(2)2-(2,6-ジフルオロフェニル)-2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)アセトニトリル(化合物XIV)の製造

2-(2,6-ジフルオロフェニル)アセトニトリル12g(78ミリモル)を100m1のN,N-ジメチルホルムアミドに溶解し、60%水素化ナトリウム6.3g(0.16モル)を添加し、室温にて2時間撹拌した。次に2-メチルスルホニル-4,6-ジメトキシピリミジン17g(78ミリモル)を加え、80℃で1時間撹拌した。反応液を水にあけ、10%塩酸水で中和した後、酢酸エチルで抽出した。有機層を水、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。残査をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒、酢酸エチル:n-ヘキサン=1:3)で精製し、無色アメ状物質の2-(2,6-ジフルオロフェニル)-2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)アセトニトリル19g(収率83%)を得た。

【0124】(3)2-(4-フルオロ-2-ニトロフ

ェニル) -2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル) アセトニトリル(化合物XII)の製造60%水素化ナトリウム11.2g(0.28モル)をN,N-ジメチルホルムアミド100m1に縣濁させ氷水浴で10℃以下に冷却し、撹拌しながら2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)アセトニトリル25g(0.14モル)のN,N-ジメチルホルムアミド100m1溶液を滴下した。滴下終了後、室温にて水素の発生がなくなるまで撹拌した。再び氷水浴中で10℃以下に冷却し撹拌しながら、2,5-ジフルオロニトロベンゼン22g(0.14モル)のN,N-ジメチルホルムアミド100m1溶液を滴下した。室温にて12時間撹拌後、反応液を氷水にあけ10%塩酸水で酸性にした後、酢酸エチルで抽出した。有機層を水、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧

留去した。析出した粗結晶をエタノール/イソプロピルエーテル混合溶媒で洗浄し、無色粒状結晶(融点111 ~ 112 \mathbb{C}) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-(4-7) 02-

【0125】同様に(1)及び(3)の方法で以下に示す化合物(化合物XII)を得た。

 $2-(3-メチル-2-ニトロフェニル)-2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル) アセトニトリル:淡赤色粒状結晶(融点<math>108\sim110$ °C)

2-(3-メトキシメチル-2-ニトロフェニル)-2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)アセトニトリル:赤褐色粉末(融点112~113℃)

【0126】<参考例2>

(1) 5-7ルオロ-2-(4,6-5ジメトキシピリミジン-2-4ルカルボニル) ニトロベンゼン(化合物Va) の製造

2-(4-フルオロ-2-ニトロフェニル)-2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)アセトニ トリル3.2g(10ミリモル)、m-クロロ過安息香 酸(50%)6.0g(17ミリモル)をクロロホルム 30mlに溶解させ、室温にて12時間撹拌した。つい で10%水酸化ナトリウム水溶液15m1を加え室温に て1時間撹拌した後、クロロホルム50m1を加え抽出 した。有機層を5%塩酸水、飽和食塩水で洗浄し、無水 硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。残査 をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒、酢 酸エチル: n-ヘキサン=1:5)で精製し、白色粒状 結晶 (融点187~189℃) の5-フルオロー2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルボニ ル) ニトロベンゼン2.7g(収率88%) を得た。 【0127】(2)2-(2,6-ジフルオロベンゾイ ν) -4, 6-iジメトキシピリミジン(化合物Vc)の 製造

2-(2,6-i)フルオロフェニル)-2-(4,6-i)ジメトキシピリミジン-2-iイル)アセトニトリル19g(65ミリモル)、m-0ロロ過安息香酸(50%)30g(87ミリモル)をクロロホルム150mlに溶解させ、加熱還流下6時間撹拌した。ついで室温に戻し10%水酸化ナトリウム水溶液15mlを加え室温にて2時間撹拌した後、クロロホルム50mlを加え抽出した。有機層を5%塩酸水、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。残査をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒、酢酸エチル:n-ヘキサン=1:3)で精製し、白色結晶(融点104~105℃)の2-(2,6-i)ルオロベンゾイル)-4,6-i>メトキシピリミジン13g

(収率71%)を得た。

【0128】同様の方法で以下に示す化合物 (化合物 Va) を得た。

2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルボニル) ニトロベンゼン:淡褐色結晶(融点164~165℃)

6-フルオロ-2-(4, 6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルボニル)ニトロベンゼン:淡褐色粒状結晶(融点 $181\sim183$ °C)

6-メチルー2-(4, 6-ジメトキシピリミジンー2ーイルカルボニル)ニトロベンゼン:無色粒状結晶(融点166~171℃)

6-エチルー2-(4, 6-ジメトキシピリミジンー2ーイルカルボニル)ニトロベンゼン:白色粉末(融点116~117℃)

6-メトキシメチルー2-(4,6-ジメトキシピリミジンー2-イルカルボニル)ニトロベンゼン:白色粉末(融点 $111\sim113$ °C)

【0129】<参考例3>

(1) 5-フルオロー2-(4, 6-ジメトキシピリミジンー2-イルカルボニル)アニリン(化合物Vb)の製造

5-フルオロ-2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルボニル)ニトロベンゼン3.1g(10ミリモル)、鉄粉3g(54ミリモル)、水 <math>20m1、酢酸エチル150m1及び酢酸1m1の混合物を加熱還流下5時間撹拌した。反応液中の不溶物をろ過助剤を用いて除去し、有機層を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧留去し、析出した粗結晶をジイソプロピルエーテルで洗浄し、淡黄色粒状結晶(融点 $177\sim179$ $\mathbb C$)の5-フルオロ-2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルボニル)アニリン2.4g(収率87%)を得た。

【0130】(2)3-フルオロ-2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルボニル)アニリン(化合物Vb)の製造

【0131】同様に(1)の方法で以下に示す化合物 (化合物 V b)を得た。 2-(4,6-i)ジェントキシピリミジン-2-iルカルボニル)アニリン:黄色結晶(融点 $166\sim167$ ℃)6-iフルオロ-2-i4、6-iジェントキシピリミジン-2-i1ルカルボニル)アニリン:黄色粒状結晶(融点 $131\sim134$ ℃)

6-メチル-2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2 -イルカルボニル)アニリン: 黄色粒状結晶(融点13 0~132℃)

6-エチル-2-(4, 6-ジメトキシピリミジン-2ーイルカルボニル) アニリン: 黄色粉末(融点122~123℃)

6-メトキシメチル-2-(4, 6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルボニル)アニリン: 蛍光黄色結晶 (融点 $100\sim101$ °C)

【0132】<参考例4>

1-(2-アミノー4-フルオロフェニル)-1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)メタノール(化合物<math>VIIb)の製造

5-7ルオロ-2-(4,6-i)ジトキシピリミジンー 2-4ルカルボニル)アニリン1.1g(4.0) リモル)をテトラヒドロフラン: x=1:1の混合溶媒50 m 1 に溶解させ、室温で撹拌しながら水素化ホウ素ナトリウム0.3g(7.9) ミリモル)を加え、さらに 2 時間室温で撹拌を続けた。氷水50 m 1 を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸マグネシウム乾燥した。溶媒を減圧留去し、析出した粗結晶をジイソプロピルエーテルで洗浄し、無色粒状結晶(融点 $94\sim95$ °C)の1-(2-r) 人の1-(2-r) といってエニル)-1-(4,6-i)ジトキシピリミジンー1-(4,6-i) と得た。

【0133】同様の方法で以下に示す化合物(化合物VIIb)を得た。

1-(2-アミノフェニル)-1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)メタノール:白色粉末(融点78~80℃)

 $1-(2-アミノ-3-フルオロフェニル)-1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)メタノール:無色粒状結晶(融点<math>92\sim94$ ℃)

 $1-(2-アミノ-6-フルオロフェニル)-1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)メタノール:白色粉末(融点<math>109\sim110$ ℃)

 $1-(2-アミノ-3-メチルフェニル)-1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)メタノール:無色粒状結晶(融点<math>109\sim112$ ℃)

1-(2-アミノ-3-エチルフェニル)-1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)メタノール:白色結晶(融点85~86℃)

 -ル:白色結晶(融点40~42℃)

【0134】本発明の除草剤は、一般式 [I]で示されるスルホンアニリド誘導体を有効成分としてなる。

【0135】本発明化合物を除草剤として使用するには本発明化合物それ自体で用いてもよいが、製剤化に一般的に用いられる担体、界面活性剤、分散剤又は補助剤等を配合して、粉剤、水和剤、乳剤、微粒剤又は粒剤等に製剤して使用することもできる。

【0136】製剤化に際して用いられる担体としては、例えばタルク、ベントナイト、クレー、カオリン、珪藻土、ホワイトカーボン、バーミキュライト、炭酸カルシウム、消石灰、珪砂、硫安、尿素等の固体担体、イソプロピルアルコール、キシレン、シクロヘキサン、メチルナフタレン等の液体担体等があげられる。

【0137】界面活性剤又は分散剤としては、例えばアルキルベンゼンスルホン酸金属塩、ジナフチルメタンジスルホン酸金属塩、アルキル硫酸エステル塩、アルキルアリールスルホン酸塩ホルマリン縮合物、リグニンスルホン酸塩、ポリオキシエチレングリコールエーテル、ポリオキシエチレンアルキルアリールエーテル、ポリオキシエチレンソルビタンモノアルキレート等があげられる。

【0138】補助剤としては、例えばカルボキシメチルセルロース、ポリエチレングリコール、アラビアゴム等があげられる。

【0139】使用に際しては適当な濃度に希釈して散布するか又は直接施用する。

【0140】本発明の除草剤は茎葉散布、土壌施用又は水面施用等により使用することができる。有効成分の配合割合については必要に応じて適宜選ばれるが、粉剤又は粒剤とする場合は0.01~10%(重量)、好ましくは0.05~5%(重量)の範囲から適宜選ぶのがよい。また、乳剤及び水和剤とする場合は1~50%(重量)、好ましくは5~30%(重量)の範囲から適宜選ぶのがよい。

【0141】本発明の除草剤の施用量は使用される化合物の種類、対象雑草、発生傾向、環境条件ならびに使用する剤型等によってかわるが、粉剤又は粒剤のようにそのまま使用する場合は、有効成分として10アール当り0.1 $g\sim5kg$ 、好ましくは1 $g\sim1kg$ の範囲から適宜選ぶのがよい。また、乳剤又は水和剤のように液状で使用する場合は、0.1 ~50 ,000ppm、好ましくは10 \sim 10,000ppmの範囲から適宜選ぶのがよい。

【0142】また、本発明化合物は必要に応じて殺虫 剤、殺菌剤、他の除草剤、植物生長調節剤、肥料等と混 用してもよい。

【0143】次に代表的な製剤例をあげて製剤方法を具体的に説明する。化合物、添加剤の種類及び配合比率は、これのみに限定されることなく広い範囲で変更可能

である。以下の説明において「部」は重量部を意味する。

【0144】〈製剤例1〉 水和剤

化合物(I-253)のI 0部にポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルのI 0.5部、I 0・カーナフタレンスルホン酸ホルマリン縮合物ナトリウム塩のI 0.5部、珪藻土のI 2 0 部、クレーのI 6 9部を混合粉砕し、水和剤を得る。

【0145】〈製剤例2〉 水和剤

化合物 (I-353) の10部にポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルの0.5部、βーナフタレンスルホン酸ホルマリン縮合物ナトリウム塩の0.5部、珪藻土の20部、ホワイトカーボンの5部、クレーの64部を混合粉砕し、水和剤を得る。

【0146】〈製剤例3〉 水和剤

化合物(I-367)の10部にポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルの0.5部、βーナフタレンスルホン酸ホルマリン縮合物ナトリウム塩の0.5部、珪藻土の20部、ホワイトカーボンの5部、炭酸カルシウムの64部を混合粉砕し、水和剤を得る。

【0147】〈製剤例4〉 乳剤

化合物(I-335)の30部にキシレンとイソホロンの等量混合物60部、界面活性剤ポリオキシエチレンソルビタンアルキレート、ポリオキシエチレンアルキルアリールボリマー及びアルキルアリールスルホネートの混合物の10部を加え、これらをよくかきまぜることによって乳剤を得る。

【0148】〈製剤例5〉 粒剤

化合物(I-269)の10部、タルクとベントナイトを1:3の割合で混合した増量剤の80部、ホワイトカーボンの5部、界面活性剤ポリオキシエチレンソルビタンアルキレート、ポリオキシエチレンアルキルアリールポリマー及びアルキルアリールスルホネートの混合物の5部に水10部を加え、よく練ってペースト状としたものを直径0.7mmのふるい穴から押し出して乾燥した後に0.5~1mmの長さに切断し、粒剤を得る。

【 0 1 4 9 】次に試験例をあげて本発明化合物の奏する 効果を説明する。

【 0 1 5 0 】 〈試験例 1 〉 水田湛水処理による除草効 果試験

100cm²のプラスチックポットに水田土壌を充填し、代掻後、タイヌビエ(Ec)、コナギ(Mo)及びホタルイ(Sc)の各種子を播種し、水深3cmに湛水した。翌日、製剤例1に準じて調製した水和剤を水で希釈し、水面に滴下処理した。施用量は、有効成分を10アール当り100gとした。その後、温室内で育成し、処理後28日目に表36の基準に従って除草効果を調査した。結果を表37~表43に示す。

[0151]

【表36】

指数	除草効果(生育抑制程度)及び薬害
5	無処理区に対し90%以上の抑制の除草効果、薬害
4	無処理区に対し70%以上90%未満の除草効果、薬害
3	無処理区に対し50%以上70%未満の除草効果、薬害
2	無処理区に対し30%以上50%未満の除草効果、薬害
1	無処理区に対し10%以上30%未満の除草効果、薬害
0	無処理区に対し 0%以上10%未満の除草効果、薬害

【0152】 【表37】

//. A #4-5	7. 🖂	除草	効 果	
化合物和	野	Ес	Мо	Sc
I –	1	5	5	5
I -	2	5	5	5
I -	3	5	5	5
I -	4	5	5	5
I	7	5	5	5
1 - 2	53	5	5	5
I - 2!	56	3	5	5
I - 2 !	57	5	5	5
1-25	5 8 Ē	5	5	5
1 - 2	59	5	5	5
I - 26	30	5	5	5
I - 26	31	5	5	5
I - 26	32	5	5	5
I - 2 = 0	33	5	5	5
I - 2 6	34	5	5	5
1 - 26	3 5	5	5	5
I - 26	36	5	5	5
1 - 26	37	5	5	5
1 - 26	8 8	5	5	5
I - 26	39	5	5	5
I - 2 '	70	5	5	5
I - 2 '	71	5	5	5
I - 2	72	5	5	5
I – 2 '	73	5	5	5
1-2	74	5	5	5
I-2	75	5	5	5
I - 2	76	5	5	5
I - 2	77	5	5	5
I-2	78	5	5	5

#. A 44 mt. FT	除草	効 果	
化合物番号	Ес	Мо	Sc
I - 2 7 9	4	5	5
I - 280	5	5	5
I - 281	5	5	5
I - 2 8 2	5	5	5
I - 283	5	5	5
I - 284	5	5	5
I - 285	5	5	5
I - 286	5	5	5
I - 287	5	5	5
I - 288	5	5	5
I - 289	5	5	5
I - 290	5	5	5
I - 291	5	5	5
I - 2 9 2	5	5	5
I - 293	5	5	5
I - 294	5	5	5
I - 295	4	5	5
I - 296	5	5	5
I - 297	5	5	5
I - 298	5	5	5
I - 299	5	5	5
I - 300	5	5	5
I - 3 0 1	4	5	5
I - 3 0 2	5	5	5
I - 303	5	5	5
I - 3 0 4	5	5	5
I - 3 0 5	5	5	5
I - 306	5	5	5
I - 307	5	5	5

【0154】 【表39】

【0153】 【表38】

A. A. S. T. II	除草	効 果	:
化合物番号	Ес	Мо	Sc
I - 3 0 8	5	5	5
1-309	5	5	5
I - 3 1 0	5	5	5
I - 3 1 1	5	5	5
I - 3 1 2	5	5	5
1 - 3 1 3	4	5	5
I - 3 1 4	5	5	5
I - 3 1 5	5	5	5
I - 3 1 6	5	5	5
I - 3 1 7	5	5	5
I - 318	5	5	5
I - 3 1 9	5	5	5
I - 3 2 0	5	5	5
I - 3 2 1	5	5	5
I - 3 2 2	4	5	5
I - 3 2 3	5	5	5
1 - 324	5	5	5
1-325	5	5	5
I - 3 2 6	5	5	5
I - 3 2 7	5	5	5
I - 3 2 8	5	5	5
I - 329	4	5	5
$I - 3 \ 3 \ 0$	5	5	5
1-331	5	5	5
1-332	5	5	5
I - 3 3 3	5	5	5
I - 3 3 4	5	5	5
I - 335	5	5	5
I - 3 3 6	5	5	5

A. A 44 TA FI	除草	効 果	
化合物番号	Ес	Мо	Sc
I - 3 3 7	5	5	5
I - 3 3 8	5	5	5
I - 3 3 9	5	5	5
$I - 3 \ 4 \ 0$	5	5	5
$I - 3 \ 4 \ 1$	5	5	5
I - 3 4 2	5	5	5
$I - 3 \ 4 \ 3$	5	5	5
I - 3 4 4	5	5	5
I - 3 4 5	5	5	5
I - 3 4 6	5	5	5
I - 347	5	5	5
I - 3 4 8	5	5	5
I - 3 4 9	5	5	5
I - 350	5	5	5
I - 3 5 1	5	5	5
I - 3 5 2	5	5	5
I - 353	5	5	5
I - 3 5 4	5	5	5
I - 3 5 5	5	5	5
I - 3 5 6	5	5	5
I - 3 5 7	5	5	5
I - 358	5	5	5
I - 3 5 9	5	5	5
I - 3 6 0	5	5	5
I - 3 6 1	5	5	5
I - 3 6 2	5	5	5
I - 3 6 3	5	5	5
I - 3 6 4	5	5	5
I - 3 6 5	5	5	5

【0155】 【表40】 【0156】 【表41】

a. A st. vi. vi	除草	効 果	
化合物番号	Ес	Мо	Sc
1-366	5	5	5
I - 3 6 7	5	5	5
I - 3 6 8	5	5	5
I - 369	5	5	5
1-370	5	5	5
1-371	5	5	5
I - 372	5	5	5
I - 4 9 2	5	5	5
I - 4 9 3	5	5	5
I-494	5	5	5
I - 495	5	5	Б
I - 496	5	5	5
I-498	5	5	5
1-499	5	5	5
I - 5 0 0	5	5	5
I - 5 0 1	5	5	5
I - 5 0 2	5	5	5
1-503	5	5	5
I - 5 0 4	5	5	5
I - 5 0 5	5	5	5
I - 5 0 6	4	5	5
I - 507	5	5	5
I - 5 0 8	5	5	5
1-509	5	5	5
I - 5 1 0	5	5	5
I - 5 1 1	5	5	5
I - 5 1 2	5	5	5
1-513	5	5	5
I - 5 1 4	5	5	5

dia & dd. wit im	除草	効 果	
化合物番号	Ес	Мо	Sc
I – 5 1 5	2	5	5
I - 5 1 6	5	5	5
I - 5 1 7	5	5	5
I - 5 2 1	5	5	5
I - 5 2 2	5	5	5
I - 5 2 3	5	5	5
I - 5 2 4	5	5	5
I - 5 2 5	5	5	5
I - 5 2 6	5	5	5
I - 5 2 7	5	5	5
I - 528	5	5	5
I - 5 2 9	5	5	5
I - 5 3 0	5	5	5
I - 5 3 1	5	5	5
I - 5 3 2	5	5	5
I - 5 3 3	5	5	5
I - 534	5	5	5
I - 535	4	5	5
I - 5 3 6	5	5	5
I - 5 3 7	5	5	5
I - 5 3 8	5	5	5
I - 5 3 9	5	5	5
I - 5 4 0	5	5	5
I - 5 4 1	5	5	5
I - 5 4 2	5	5	5
I - 5 4 3	5	5	5
I - 5 4 4	5	5	5
I - 5 4 5	5	5	5
I - 5 4 6	5	5	5

【0157】 【表42】 【0158】 【表43】

el. A stant H	除草	効 果	
化合物番号	Еc	Мо	Sc
I - 5 4 7	4	5	5
I - 5 4 8	5	5	5
I-549	5	5	5
I-550	5	5	5
I-551	5	5	5
I - 5 5 2	5	5	5
I - 5 5 3	5	5	5
I - 5 5 4	5	5	5
I - 5 5 5	5	5	5
I - 5 5 6	5	5	5
I - 5 5 7	5	5	5
I - 5 5 8	5	5	5
I - 5 5 9	4	5	5
I - 5 8 0	5	5	5
I - 5 6 1	5	5	5
1-562	5	5	5
I - 5 6 9	5	5	5
I-564	5	5	5
1-565	5	5	5
I - 5 6 6	5	5	5
I - 5 6 7	5	5	5
I - 5 6 8	5	5	5
I I - 4 5	5	5	5
I I – 5 5	4	5	5
I I - 56	4	5	5
I I - 5 7	5	5	5

【0159】〈試験例2〉 水田湛水処理による作物選択性試験

100cm²のプラスチックポットに水田土壌を充填し、代掻後、コナギ(Mo)およびホタルイ(Sc)の各種子を0.5cmの深さに播種し、さらに2葉期の水稲(Or)を移植深度2cmで2本移植し、水深3cmに湛水した。翌日、製剤例1に準じて調製した水和剤の所定有効成分量(ai,g/10a)を水で希釈し、水面に滴下処理した。その後、温室内で育成し、処理後28日目に表36の基準に従って除草効果および薬害程度を調査した。結果を表44~表49に示す。

【0160】 【表44】

化合物	薬量	除草	効果	楽 害
	ai, g			
番号	/10a	Мо	S c	0 r
1 - 1	1. 6	5	4	0
I — 4	1.8	5	4	0
I – 7	1.6	5	4	0
I - 253	1. 6	5	5	0
I - 257	1.6	5	5	0
I - 258	6.3	5	5	0
1-259	1.6	5	_	0
I - 2 6 0	6.3	5	5	0
I - 262	6.3	5	5	0
I - 2 6 3	6.3	5	5	0
I - 264	2 5	5	5	0
I - 265	1.6	5	5	0
1-266	1.6	5	_	0
I - 268	1.6	5	5	0
I - 269	0.4	5	5	0
I - 271	1. 6	5	_	0
1-272	1.6	_	5	0
1 - 273	1.6	5	5	0
I - 274	1.6	5	_	0
I - 275	1.6	5	5	0
I - 2 7 6	1.6	5	5	0
I - 278	1. 6	5	5	0
I - 280	1. 6	_	5	0
I - 2 8 1	1.6	_	5	0
I - 2 8 2	1.6	5	5	0
I - 2 8 3	1.6	_	5	0
I - 2 8 5	1.6	_	5	0
I - 286	6.3	_	5	0

[0161]

【表45】

化合物	薬量	除草	効果	薬 害
	ai, g			
番号	/10a	Мо	Sc	0 r
I - 2 8 7	1. 6	_	5	0
I - 288	1.6	5	5	0
I - 289	1.6	_	5	0
1 - 290	1. 6	_	5	0
I - 291	1.6	_	5	0
1-293	1.6	5	5	0
I - 294	6.3	5	5	0
I - 295	2 5	_	5	0
I - 298	6.3	5	5	0
1 - 299	1.6	5	5	0
1-300	6.3	5	5	0
I - 3 0 1	1.6	_	5	0
1-302	1.6	5	5	0
1 - 303	6.3	5	5	0
I - 304	6. 3	5	5	0
1-305	6.3	5	5	0
1-806	2 5	5	5	0
I - 3 0 7	6. 3	5	5	0
1-309	6. 3	5	5	0
I - 3 1 1	6.3	5	5	0
I - 3 1 2	1.6	5	5	0
I - 3 1 3	6.3	5	5	0
I - 3 1 4	6.3	5	5	0
1-315	1.6	5	5	0
I - 3 1 6	1.6	_	5	0
I - 3 2 1	1.6	5	5	0
I - 3 2 4	1.6	5	5	0
I - 3 2 5	6.3	5	5	0
I - 3 2 6	2 5	5	5	0

【0162】 【表46】

化合物	薬量	除草	効 果	薬 害
	ai, g			
番号	/10a	Мо	S c	0 r
I - 3 2 8	1. 6	5	5	0
1-329	1. 6	_	5	0
1-330	6.3	5	5	0
I - 3 3 1	6.3	5	5	0
I - 3 3 2	2 5	5	5	0
1-333	2 5	5	5	0
I - 3 3 4	2 5	5	5	0
1-335	2 5	5	5	0
1-337	1.6	5	4	0
1-338	1. 6	5	3	0
1-339	6.3	5	5	1
I - 3 4 3	6.3	5	5	0
I - 3 4 4	1.6	5	5	0
I - 346	6.3	5	4	0
I - 347	1.6	5	4	0
I - 348	1.6	5	5	0
1-349	1.6	5	4	0
I - 352	2 5	5	5	0
I - 3 5 3	2 5	4	5	0
I - 3 5 4	6.3	5	5	0
I - 3 5 5	6.3	5	5	0
I - 3 5 6	2 5	5	5	0
1-357	2 5	5	5	0
I - 3 5 8	2 5	4	5	0
I-359	2 5	5	5	0
I - 3 6 0	100	5	5	1
I-361	2 5	5	5	1
I - 3 6 2	100	5	5	1
1 - 3 6 3	100	5	5	0

【0163】 【表47】

化合物	薬量	除草	効果	楽 害
	ai, g			
番号	/10a	Мо	S c	0 r
I - 3 6 4	100	5	5	0
I - 3 6 5	6.3	5	5	0
I - 366	2 5	5	5	0
I - 367	2 5	5	5	0
1-368	100	5	5	1
1-370	100	5	5	1
I - 3 7 1	100	5	5	1
I - 3 7 2	100	5	5	0
I - 493	6.3	5	5	0
I - 494	6.3	_	5	0
I - 495	6.3	5	5	0
I - 496	1.6	5	5	0
I - 498	6.3	5	5	0
I - 499	2 5	5	5	0
I - 500	2 5	5	5	0
I - 5 0 1	6.3	5	5	0
I - 5 0 2	2 5	5	5	0
I - 503	6.3	5	5	0
I - 504	2 5	5	5	0
I - 5 0 5	6.3	5	5	0
I - 5 0 6	6.3	5	5	0
I - 5 0 7	2 5	5	5	0
I - 5 0 8	1.6	5	5	0
I - 5 0 9	2 5	5	5	0
I - 5 1 0	2 5	5	5	0
I - 5 1 1	6.3	5	5	0
I - 5 1 2	2 5	5	5	0
I - 5 1 3	6.3	5	5	0
I - 5 1 4	6.3	5	5	0

[0164]

【表48】

化合物	楽量	除草	効 果	薬 害
	ai, g			
番号	/10a	Мо	S c	0 r
I - 5 1 5	100	5	5	0
I - 5 1 6	6.3	5	5	0
I - 5 1 7	6.3	5	5	0
I - 521	2 5	5	5	0
I - 5 2 2	2 5	5	5	0
I - 5 2 3	1.6	5	5	0
I - 5 2 4	6.3	4	5	0
I - 525	6.3	5	5	0
I - 5 2 6	2 5	5	5	0
I - 5 2 7	6.3	5	5	0
I - 528	2 5	5	5	0
I - 5 2 9	2 5	5	5	0
I - 530	6.3	5	5	0
I - 531	2 5	5	5	0
I - 532	100	5	5	0
I - 533	6.3	5	5	0
I - 534	2 5	5	5	0
I - 5 3 5	100	5	5	0
I - 5 3 6	2 5	5	5	0
I - 5 3 7	2 5	5	5	0
I - 538	6.3	5	5	0
I - 539	2 5	5	5	0
I - 5 4 0	6.3	5	5	0
I - 5 4 1	2 5	5	5	0
1 - 542	2 5	5	5	0
I - 5 4 3	6.3	5	5	0
I - 5 4 4	6.3	5	5	0
I - 5 4 6	6.3	5	5	0
I - 5 5 0	1. 6	4	5	0

【0165】 【表49】

化合物	薬量	除草	効果	薬 害
	ai, g			
番号	/10a	Мо	Sc	Or
I - 5 5 1	2 5	5	5	0
I - 5 5 2	100	5	5	0
I - 5 5 3	6.3	5	5	0
I - 5 5 4	2 5	5	5	0
I - 5 5 6	2 5	5	5	0
I - 5 5 7	6.3	5	5	0
I-558	6.3	5	5	0
I - 5 5 9	100	5	5	0
I-560	6.3	5	5	0
I - 5 6 1	1.6	5	5	0
I - 5 6 2	2 5	5	5	0
1-563	6.3	5	5	0
I - 5 6 4	6.3	5	5	0
I - 5 6 5	100	5	5	0
I - 5 6 6	2 5	5	5	0
I - 5 6 7	100	5	5	0
I - 568	1.6	5	5	0
I I - 5 5	2 5	5	5	0
11-56	100	5	5	0
I I - 5 7	2 5	5	5	0

[0166]

【発明の効果】一般式 [I] で表される本発明の化合物は、水田に発生するタイヌビエ、タマガヤツリ、コナギ、アゼナ等の一年生雑草及びヘラオモダカ、ホタルイ、ウリカワ、オモダカ、ミズガヤツリ、クログワイ等

株式会社ケイ・アイ研究所内

の多年生雑草に対し、発生前から生育期の広い範囲にわたって、雑草の発生および生育を長期間抑制し、低薬量で防除することができる。一方、同時にイネに対して高い安全性を有するものである。

フロントページの続き

(51) Int. Cl.	識別記号	FΙ	
C 0 7 D	403/06 2 3 3	CO7D4	03/06 2 3 3
	413/04 2 3 9	4	13/04 2 3 9
(72)発明者	鈴木 千治 静岡県磐田郡福田町塩新田408番地の1	(72)発明者	小野 至正 静岡県静岡市敷地2丁目13番地の10
(72)発明者	株式会社ケイ・アイ研究所内 中谷 昌央	(72) 発明者	井田 智久 静岡県小笠郡菊川町町加茂3353番地
	静岡県磐田郡福田町塩新田408番地の1 株式会社ケイ・アイ研究所内	(72)発明者	柳沢 克忠 静岡県小笠郡菊川町半済3061番地の88
(72)発明者	田丸 雅敏 静岡県磐田郡福田町塩新田408番地の1	(72)発明者	佐土原 英雄 埼玉県新座市堀ノ内2丁目9番地の3